平成３１年　第５回　川口市教育委員会定例会

日　時　　平成３１年４月１日（月）
　　午後３時３０分
場　所　　川口市教育局教育委員会室

日　　程

１　開　会

２　点　呼

３　前回会議録の承認

（１）第４回川口市教育委員会定例会会議録

４　教育長報告

（１）４月行事予定について　――　１
（２）教育財産（土地）の廃止及び引き継ぎについて　――　７
（３）川口市青少年婦人教育施設運営審議会委員の委嘱を解いたことについて　――　８
（４）川口市スポーツ推進委員の委嘱を解いたことについて　――　９
（５）平成３１年度「特色ある学校づくり推進校」の決定
　　及び学校支援員の採用について　――　１０
（６）平成３０年度学校自己評価のまとめについて　――別添１
（７）学校医等の委嘱を解いたことについて　――　１３
（８）学校医等の委嘱について　――　１４

５　協議事項

６　議　事

議案第５７号　川口市学校運営協議会委員を委嘱・任命することについて　――当日１
議案第５８号　川口市児童生徒学力向上推進委員を任命することについて　――　１５
議案第５９号　川口市児童生徒徳力向上推進委員を任命することについて　――　１８
議案第６０号　川口市児童生徒体力向上推進委員を任命することについて　――　２０
議案第６１号　児童生徒ライフスキルかわぐち推進委員を任命することについて　――　２２
議案第６２号　川口市立高等学校進路カウンセラーを委嘱することについて　――　２４
議案第６３号　川口市学校ファーム推進校を委嘱することについて　――　２５

７　その他

８　閉　会

教育長報告（1）

平成 31 年　4　月　行事予定表

日	曜日	教育総務課	生涯学習課	文化推進室	文化財課	中央図書館	日	曜日
1	月	辞令交付式(【採用】10:45　局2階会議室) 教育委員会定例会(15:30　教育委員会室) 辞令交付式(【昇任・異動】16:45　局2階会議室)					1	月
2	火					わらべうたとえほんの会 (11:00　中央図書館)	2	火
3	水						3	水
4	木						4	木
5	金					おさなごのおはなし会 (11:00　前川図書館)	5	金
6	土					おはなし会 (14:30　中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館) (15:00　中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館)	6	土
7	日			学芸員によるギャラリートーク (14:30　アートギャラリー)			7	日
8	月						8	月
9	火		生涯学習課・スポーツ課合同施設長打合せ会 (10:00　生涯学習プラザ　ミーティング室)				9	火
10	水				魅がきたい総会第1回活動 (10:00　文化財センター)		10	水
11	木					親子で楽しむ　絵本とわらべうた　くまさんのへや (10:30　戸塚図書館)	11	木
12	金	埼玉県都市教育長協議会総会 (15:00　ブリランテ武蔵野)				新郷絵本とわらべうたの会(10:30　新郷図書館) おはなしじゅうたん(10:30　鳩ヶ谷図書館) おさなごのおはなし会(11:00　前川図書館)	12	金
13	土					おはなし会 (14:30　中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館) (15:00　中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館)	13	土
14	日				市指定無形民俗文化財　江戸袋の獅子舞　公開 (9:00　江戸袋氷川神社)		14	日
15	月				魅がきたい第2回活動　五月人形の飾り付け (9:30　旧田中家住宅)		15	月

平 成 31 年　　4　　月　　行 事 予 定 表

日	曜日	教 育 総 務 課	生 涯 学 習 課	文 化 推 進 室	文 化 財 課	中 央 図 書 館	日	曜日
16	火				「旧田中家住宅の端午の節供－五月人形の展示公開－」～5/12 (9:30　旧田中家住宅)	わらべうたとえほんの会 (11:00　中央図書館)	16	火
17	水		公民館職員対象人権研修会 (9:30　人財育成センター)			わらべうたであそぼう (11:00　横曽根図書館)	17	水
18	木	南部教育長会議・教育長協議会 (15:00　ブリランテ武蔵野)					18	木
19	金					おさなごのおはなし会 (11:00　前川図書館)	19	金
20	土			ワークショップ「手のなかのかたち」 (17:00　アートギャラリー)		おはなし会 (14:30　中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館) (15:00　中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館)	20	土
21	日			ワークショップ「手のなかのかたち」 (10:30　アートギャラリー)			21	日
22	月						22	月
23	火	埼玉県市町村教育委員会教育長研究協議会 (13:00　さいたま商工会議所)					23	火
24	水						24	水
25	木	教育委員会定例会 (15:00　教育委員会室)				親子で楽しむ　絵本とわらべうた　くまさんのへや (10:30　戸塚図書館)	25	木
26	金					新郷絵本とわらべうたの会(10:30　新郷図書館) おはなしじゅうたん(10:30　鳩ヶ谷図書館)	26	金
27	土					おはなし会 (14:30　中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館) (15:00　中央・前川・新郷・横曽根・戸塚・鳩ヶ谷図書館)	27	土
28	日						28	日
29	月	昭和の日					29	月
30	火	休日					30	火

平成31年　4　月　行事予定表

日	曜日	科学館	スポーツ課	日	曜日
1	月	春休み企画イベント 3/27～4/7		1	月
2	火			2	火
3	水			3	水
4	木			4	木
5	金	川口市スポーツ推進委員委嘱式・川口市スポーツ推進委員協議会定期総会	(18:45、19:30　市民ホールフレンディア)	5	金
6	土			6	土
7	日			7	日
8	月			8	月
9	火		生涯学習課・スポーツ課合同施設長打合せ会 (10:00　生涯学習プラザ　ミーティング室)	9	火
10	水		川口市学校体育協会総会 (16:30　神根西公民館)	10	水
11	木			11	木
12	金		川口市レクリエーション協会定期総会 (19:00　青木会館市民ホール)	12	金
13	土	夜間観測会(19:00天文台)		13	土
14	日		川口市少年少女スポーツ大会(柔道の部) (9:30　体育武道センター)	14	日
15	月			15	月

平 成 31 年　　4　　月　　行 事 予 定 表

日	曜日	科 学 館	ス ポ ー ツ 課	日	曜日
16	火			16	火
17	水			17	水
18	木			18	木
19	金			19	金
20	土			20	土
21	日			21	日
22	月			22	月
23	火	休館日（館内整理日）		23	火
24	水			24	水
25	木			25	木
26	金		川口市スポーツ少年団代議員会 （19:00　市民ホールフレンディア）	26	金
27	土	ゴールデンウィーク企画イベント　～5/6 夜間観測会（19:00　天文台）		27	土
28	日			28	日
29	月			29	月
30	火			30	火

平 成 31 年　　4　　月　　行 事 予 定 表

日	曜日	庶務課	学 務 課	指 導 課	学 校 保 健 課	市 立 高 等 学 校	日	曜日
1	月		新採用教職員辞令交付式 (9:30　蕨市民会館) 新任転入教職員着任紹介式(13:15　リリア)	教育研究所相談員、カウンセラー委嘱状交付式 (11:15　局2階会議室)			1	月
2	火						2	火
3	水		特別支援教育支援員・特別支援学級等補助員・教育相談支援員採用証交付式(14:20　教育研究所)	学校図書館司書採用証交付式(13:30　教育研究所) 進路カウンセラー委嘱状交付式(16:30　教育委員会室)	パートタイマー調理員研修会 (9:30　第二庁舎地階第1会議室)		3	水
4	木			防犯ブザー贈呈式(11:00　教育長室) 黄色いワッペン贈呈式(16:00　局2階会議室)	養護教員新任・転任者研修会 (13:30　教育委員会室)		4	木
5	金		川口市スクールソーシャルワーカー採用証交付式(10:00　教育研究所)	川口市中学生・高校生相互派遣事業連絡会役員会議 (9:30　教育委員会室)			5	金
6	土						6	土
7	日						7	日
8	月		始業式(幼・小・中) 入学式 (小11:00、中13:30)			始業式 (全日制8:50、定時制18:00　市立高等学校) 入学式(全日制)　(13;30　市立高等学校)	8	月
9	火					入学式(定時制) (18:00　市立高等学校)	9	火
10	水				小・中学校給食開始(小学校1年生除く) 学校栄養士研究会総会 (14:30　元郷学校給食センター会議室)		10	水
11	木			埼玉県学力・学習状況等調査(全小4～中3) 川口市小学校低学年基礎学力定着度調査(小2～3)			11	木
12	金		入園式 (10:00　舟戸幼、南平幼)		小学校1年生給食開始 給食主任会 (15:00　水道庁舎大会議室)		12	金
13	土					土曜授業(8:40　市立高等学校) P・後総務会　新旧理事会 (10:00　市立高等学校)	13	土
14	日						14	日
15	月		第1回月例校長連絡会 (10:00　局2階会議室)				15	月

平 成 31 年　　4　　月　　行 事 予 定 表

日	曜日	庶務課	学 務 課	指 導 課	学 校 保 健 課	市 立 高 等 学 校	日	曜日
16	火		川口市立芝西中学校陽春分校入学式 (18:00　陽春分校)				16	火
17	水		平成31年度学校運営協議会指定校指定書交付式 (14:00　教育研究所)	平成31・32年度研究委嘱校委嘱状 ・平成31年度学校ファーム推進校委嘱状交付式(14:00　教育研究所) 平成31年度学力・徳力・体力向上・ライフスキルかわぐち推進委員任命書交付式(15:30　教育研究)	ミルク給食開始(芝西中学校陽春分校)		17	水
18	木			全国学力・学習状況調査(全小6・中3)	自校調理小学校栄養士連絡調整会議 (14:00　第二庁舎地階第2会議室) 学校給食事務新任・転任者説明会(13:30　人財育成センター)		18	木
19	金			「子どもを守る運動強化週間」推進会議 (10:00　局2階会議室)	市結核対策委員会 (13:30　局2階会議室)		19	金
20	土						20	土
21	日			中高生海外派遣事業1次選考 (9:00　教育研究所)			21	日
22	月						22	月
23	火		川口市立芝西中学校陽春分校開校記念式典 (18:00　陽春分校)	大貫海浜学園指導者講習会(～24日)			23	火
24	水			川口市教育研究会第50回定期総会 (15:00　リリア)			24	水
25	木		第1回川口市立学校長会議 (9:30　市立高等学校)				25	木
26	金		県公立小・中学校等校長研究協議会 (9:30　埼玉会館)		市養護教員部会総会 (15:00　水道庁舎大会議室)		26	金
27	土					土曜授業(8:40　立高等学校) 3年保護者対象進路説明会 (9:30　市立高等学校)	27	土
28	日						28	日
29	月						29	月
30	火						30	火

教育長報告（２）

教育財産（土地）の廃止及び引き継ぎについて

１　財産(土地)の内容

名　称　　元郷避難広場

種　別 （土地・建物）	所在地 （物件の表示）	地　番 （家屋番号）	地　目 又は 構　造	公簿地積（現況地積） 又は 床面積
土地	川口市元郷四丁目	1073 番	宅地	5,330 ㎡
			合計	5,330 ㎡

２　廃止及び引き継ぐ理由

当該施設について、市長部局の都市計画部公園課が所管し、管理・運営を行なうこととなった。そのため、教育財産としての用途を廃止し、市長（都市計画部公園課）に引き継ぎするもの。

３　廃止及び引継年月日

平成３１年４月１日

教育長報告（３）

川口市青少年婦人教育施設運営審議会委員の委嘱を解いたことについて

１　委嘱を解いた者

氏　　名	委嘱年月日	解職年月日	条例第３条該当名
山口　俊子	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	知識経験者
野村　重夫	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	知識経験者
庵地　眞見	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	知識経験者
池田　敬子	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	知識経験者
斉藤　ヨイ	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	知識経験者
菊地　良美	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	青少年関係団体の役員
小熊　奈々子	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	青少年関係団体の役員
藤野戸　幸子	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	青少年関係団体の役員
矢村　信子	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	青少年関係団体の役員
井上　春江	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	青少年関係団体の役員
関根　潤治	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	婦人関係団体の役員
杉本　紀代美	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	婦人関係団体の役員
込田　衣巨	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	婦人関係団体の役員
上村　エミ子	平成30年５月１５日	平成31年３月３１日	婦人関係団体の役員

教育長報告（４）

川口市スポーツ推進委員の委嘱を解いたことについて

１　委嘱を解いた者

地　区　名	氏　　名	委嘱年月日	解嘱年月日
戸塚西公民館地区	早舩　正	平成７年４月１日	平成３１年３月１５日

教育長報告（５）

平成３１年度　特色ある学校づくり推進校の決定及び学校支援員の採用について

学校名	テーマ	学校支援員
本町小	一人一人が自ら技能を高め、進んで音楽に取り組む児童の育成	石鍋　園美
本町小	一人一人が自ら技能を高め、進んで音楽に取り組む児童の育成	大城　恵里奈
幸町小	交流教育と思いやりの心を育む教育の推進	石井　紗美
仲町小	個に応じた日本語指導の充実　～生活言語・学習言語の定着と個に応じた指導の充実を目指して～	張　栩平
上青木小	学習規律を徹底し、きめ細かな学習指導により、算数科の基礎・基本の徹底を図る	布施　典子
元郷小	「学ぶ楽しさを味わうことのできる授業の工夫・改善」～わかった・できた喜びを実感することのできる授業展開をめざして～	大井　洋子
飯塚小	日本語補充指導を必要とする外国籍児童の算数・国語を中心とした学力向上	今　宏美
芝小	「わかる喜び、学び合う楽しさのある授業」を推進テーマとし、児童一人一人の「確かな学力」の定着と「学ぶ意欲」の醸成をめざす	東理　友味
新郷小	学力向上に関する研究「『確かな学力』を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成」	竹内　由美
新郷小	学力向上に関する研究「『確かな学力』を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成」	柳田　真衣
神根小	本校の特色ある音楽教育を通して児童の豊かな心を育む	中村　由紀子
青木北小	豊かな心を育み基礎学力の定着を図る	長田　歩
領家小	確かな学力をめざし、生き生きと学ぶ子の育成	瀬田　隆文
舟戸小	金管鼓笛指導及び低学年の音楽指導の充実	小澤　博行
十二月田小	「言語活動の充実を重視した算数科の授業づくり」を目指し、主体的・対話的で深い学びを実現するとともに、学力向上を図る。	要田　悦子
十二月田小	「言語活動の充実を重視した算数科の授業づくり」を目指し、主体的・対話的で深い学びを実現するとともに、学力向上を図る。	田村　恵実
飯仲小	ティーム・ティーチング及び習熟度別学習等の実施と少人数指導の推進	斉藤　恵美子
並木小	運動の楽しさや喜びを味わい続ける児童を育成する教育活動の創造	福島　ふみ代
安行小	自分の思いや考えを生き生きと表現することのできる児童の育成	伊賀　朋子
安行小	自分の思いや考えを生き生きと表現することのできる児童の育成	金子　夕子
原町小	音楽を愛する心情や豊かな情操を養う教育の推進	橋本　京子
前川小	学校・家庭・地域の絆を深め、さらなる連携・協働を目指したコミュニティ・スクールの推進	小田島　典子
戸塚小	自ら考え、主体的に取り組む児童の育成	芝田　仁美
青木中央小	学力向上並びに個に応じた指導（支援）の充実	栗原　きよみ
青木中央小	学力向上並びに個に応じた指導（支援）の充実	新井　弘子
元郷南小	音楽の技能及び感性を高める音楽指導	藤田　広美
元郷南小	音楽の技能及び感性を高める音楽指導	岡本　久美子
芝西小	児童が互いに認め合い、高め合う学級集団づくり	平岡　美砂子
芝南小	児童一人一人の個性に応じた学習指導と生徒指導の充実	須藤　美恵子
神根東小	生き生きと学び、確かな学力を身に付ける児童の育成　～基礎基本の確実な定着と「できる・わかる・使える」ための学習指導の改善～	矢島　希美
朝日東小	ゆっくりと「できることを増やし」、しっかりと「できることの質を高める」教育を続ける学校	島田　八重
芝富士小	知力（確かな学力）・徳力（豊かな心）・体力（じょうぶな体）の調和のとれた児童の育成を目指した指導方法の工夫・改善	奈良　美帆
前川東小	「楽しい授業の創造」～深い学びを実現する算数科の授業～	木下　佳世子
柳崎小	「確かな学力」の定着を図り、とことん考え、いきいき学び合う児童の育成　～学習状況調査等の結果分析を生かした学力校向上への取組～	比企　珠季
芝樋ノ爪小	単学級における体験活動や実技等の充実及び安全確保、算数科における個に応じた指導及び日本語指導の充実	長倉　恭子
新郷南小	地域の特徴や人材を活用した特色ある教育活動の充実	木下　今日子
上青木南小	ユニバーサルデザインを基盤にした教育の充実～全ての児童の学力向上と学ぶ意欲の向上～	長野　真理
根岸小	「学力向上」に関する研究　思いや考えを伝え合い、学び合う児童の育成	阿久根　友美
芝中央小	①補充的な学習を取り入れた学力の定着（特に算数）　②特別な支援を必要とする児童個々に応じた指導の充実	秋山　琴美
芝中央小	新規採用事務職員の指導育成	齋藤　珠代
新郷東小	「読書活動をとおして読みを深め生かす児童の育成」をとおし、ひとりひとりが輝く新郷東小をめざして	石川　裕理

朝日西小	共に学び合い、生き生きと主体的に学習する児童の育成～個に応じた指導の充実と基礎的・基本的な力の定着を目指して～	今井　由美子
慈林小	「学び合い」のある授業を充実させ、学力（算数）の向上を目指す。	小林　朝江
差間小	「学力向上」を図るための基礎基本の定着～一人一人の子どもたちの「わかった」を大切にした授業への支援～	程吉　一彦
東本郷小	一人一人が生き生きと学び、豊かに表現できる児童の育成	霜田　友典
東領家小	児童一人一人が分かる喜びを実感できる学習指導法の研究	武本　慶子
安行東小	発達障害のある児童への積極的な学習支援	長島　朋世
安行東小	発達障害のある児童への積極的な学習支援	神代　あゆり
安行東小	若手事務職員の指導育成	齋藤　珠代
在家小	算数科における個に応じた指導及び配慮を要する児童への支援の充実	駒崎　玲子
戸塚東小	子供が輝き、心のふるさとなる学校づくり～　主体的に学ぶ児童の育成　～	坂本　千代子
戸塚北小	ティーム・ティーチングの研究	佐藤　翠
木曽呂小	主体的に学習し、共に学び、高め合う児童の育成	武笠　くに子
木曽呂小	主体的に学習し、共に学び、高め合う児童の育成	江川　尚吾
戸塚綾瀬小	全ての児童が安心して楽しく学習に取り組める学校づくり	堀田　綾子
戸塚南小	豊かな情操を養い、音楽活動に積極的に取り組む児童の育成	吉田　有希
戸塚南小	豊かな情操を養い、音楽活動に積極的に取り組む児童の育成	富坂　緑
鳩ヶ谷小	自ら考え、伝え合う活動をとおし、意欲的・主体的に表現する児童の育成	遠山　岐和子
鳩ヶ谷小	自ら考え、伝え合う活動をとおし、意欲的・主体的に表現する児童の育成	松坂　早希子
中居小	言葉の学びを深め、自分の考えを主体的に表現できる児童の育成	黛　淳子
中居小	言葉の学びを深め、自分の考えを主体的に表現できる児童の育成	中川　執
辻小	主体的に表現する児童の育成を目指して　　～図画工作科の授業を通して～	大矢　初美
里小	算数科における学力向上―伝え合い、学び合い、自ら学ぶ力を育てる授業づくり―	松本　明日香
桜町小	「学ぶ楽しさを味わうことのできる授業の工夫・改善」　～「わかった」「できた」を実感することのできる授業の展開をめざして～	梅野　公孝
南鳩ヶ谷小	算数科を中心とした学力向上	河本　恵津子
東中	学力向上による不登校生徒の解消	髙橋　利夫
西中	一人一人に確かな学力を定着させるための学習支援のあり方	小峰　順子
南中	個々に応じたきめ細やかな学習指導による学力の基礎・基本の定着	樋口　一
北中	基礎的・基本的な力を身に付けさせ自ら学び、自ら考える主体的に学習に取り組む生徒の育成	森　真由美
青木中	若手教員の育成	森泉　明
芝中	剛毅不屈の芝中生～「鍛えよう頭・心・体」　自己有用感を高めて伸び伸びと～	齋藤　淳子
元郷中	基礎学力の定着を目指した個別指導の充実	樋口　一
上青木中	個に応じたきめ細やかな指導の充実による学校不適応、不登校の解消	坂口　成美
幸並中	日本語指導の充実を基盤とした学力向上及び不登校対策	菊池　玲子
十二月田中	小中学校の滑らかな接続を図るための、個に応じた指導の充実　　～中１ギャップを生まないために～	鈴木　典子
仲町中	国際的に活躍できる人材育成のための教育活動の推進	菊池　玲子
安行中	自らの考えをもち、人との関わりの中で学び合い、高め合う生徒の育成	森谷　和雄
安行中	自らの考えをもち、人との関わりの中で学び合い、高め合う生徒の育成	恩田　政活
芝東中	学力向上と不登校生徒の解消をめざして	森　真由美
芝西中	個に応じた教育を推進する特別支援教育	岩崎　祐子
岸川中	個々に応じたきめ細やかな学習指導による学力の基礎・基本の定着	竹之下　保雄
榛松中	主体的・対話的に学び合う生徒の育成　～「気づく」「考える」「深める」学習活動の展開を通して～	竹之下　保雄
小谷場中	生徒一人一人の主体性を伸ばす教育の実践　　～アクティブ・ラーニングを基盤として～	都築　博文
神根中	中１ギャップの解消を図り、生徒の学ぶ意欲を育む	瀬尾　ミチ

領家中	生徒が気づき・考え・活動する生徒の育成　　～「アクティブ・ラーニング」の手法を取り入れた授業改善を通して～	鈴木　典子
戸塚中	相談室登校の生徒に学力を身につけさせ、ステップアップさせるとともに教室復帰を図る	坂口　成美
在家中	基礎・基本の定着を基盤とした学力の向上	髙橋　利夫
安行東中	各教科の特性に合った「主体的で対話的な深い学び」の授業実践の充実	木村　綾子
戸塚西中	一人ひとりを大切にし、豊かな心を育成する学校づくりをめざす	原田　淳
鳩ヶ谷中	生徒一人ひとりを大切にし、生徒の持つ力を伸ばす教育活動を充実させる　合言葉「伸ばす」	小峰　順子
八幡木中	自他共に認め合い、学び合い、学力向上といじめのない笑顔あふれる学校を実現する	瀬尾　ミチ
里中	通常学級における特別に配慮を要する生徒への支援の充実	小林　祐子
舟戸幼	【連携教育テーマ】学びをつなげ　夢をはぐくみ　未来を拓く　連携教育の推進【舟戸幼稚園テーマ】いきいき　のびのび　そだちあい	菅　朋代
南平幼	感じる 考える つながる 幼児の育成　　～「道徳性の芽生え」を大切にした保育～	山際　由美子

・特色ある学校づくり推進校支援事業要綱４条、６条により推進校を決定し、学校支援員を採用する。
・実施期間　平成３１年４月１日～平成３２年３月３１日

教育長報告（7）

学校医等の委嘱を解いたことについて

委嘱を解いた者

氏　　名	委　嘱　校	委嘱年月日	解嘱年月日	備　考
佐野　仁彦	飯塚小学校	平成 31 年 1 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	内　科
氷室　博	榛松中学校	平成 7 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	内　科
小池　昇	元郷南小学校	平成 27 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	眼　科
	上青木南小学校			
	戸塚東小学校			
佐藤　豊明	岸川中学校	昭和 49 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	眼　科
深川　晃	安行東中学校	平成 18 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	眼　科
山際　雅也	差間小学校	平成 19 年 1 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	眼　科
磯田　征夫	新郷東小学校	昭和 50 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	歯　科
大谷　正人	前川小学校	平成 30 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	歯　科
保坂　憲司	朝日西小学校	平成 11 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	歯　科
力武　勝	飯仲小学校	昭和 58 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	歯　科
江川　肇	東領家小学校	平成 21 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	薬剤師
海老沼由利子	飯仲小学校	昭和 49 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	薬剤師
	南平幼稚園	平成 1 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	
玉井　臣弥	慈林小学校	平成 30 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	薬剤師
中井　元子	青木中学校	平成 12 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	薬剤師
星　美波	辻小学校	平成 29 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	薬剤師
矢部　修	芝中学校	昭和 48 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日	薬剤師

教育長報告（８）

学校医等の委嘱について

委嘱をする者

氏　　名	委　嘱　校	委嘱年月日	備　考
有井　みのる	飯塚小学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・内　科
大倉　哲朗	榛松中学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・内　科
本郷　徳子	芝西中学校 陽春分校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・内　科
飯田　裕太郎	元郷南小学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・眼　科
	上青木南小学校		
	戸塚東小学校		
阮　俊榮	差間小学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・眼　科
	岸川中学校		
	安行東中学校		
佐藤　豊明	芝西中学校 陽春分校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・眼　科
岡田　武久	芝西中学校 陽春分校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・耳鼻科
小久保　和彦	新郷東小学校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・歯　科
宮澤　俊介	前川小学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・歯　科
伊藤　聖	朝日西小学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・歯　科
吉井　正俊	飯仲小学校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・歯　科
中村　高文	十二月田中学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・歯　科
佐合　正	安行中学校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・歯　科
杉井　克章	芝西中学校 陽春分校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・歯　科
新井　寧夫	東領家小学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・薬剤師
山田　敦子	飯仲小学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・薬剤師
江川　聡	南平幼稚園	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・薬剤師
笹岡　玲	慈林小学校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・薬剤師
吉田　数将	青木中学校	平成 31 年 4 月 1 日	新　任・薬剤師
江川　肇	辻小学校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・薬剤師
吉田　美希	芝中学校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・薬剤師
寺田　美雅	芝西中学校 陽春分校	平成 31 年 4 月 1 日	兼　任・薬剤師

議案第５８号

川口市児童生徒学力向上推進委員の任命をすることについて

川口市児童生徒学力向上推進委員会設置要綱第３条の規定により、川口市児童生徒学力向上推進委員を任命することについて、別紙のとおり議決を求める。

平成３１年４月１日提出

川口市教育委員会教育長　　茂　呂　　修　平

１　任命をする者

教科等	職名	氏名	所属	備考
国語	副委員長（校長）	林　奈緒美	中居小学校	
	主幹教諭	佐藤　彰典	前川東小学校	
	教諭	池田　有希	青木中央小学校	
	教諭	西本　幸緒	芝西中学校	
	教諭	大野　寛人	榛松中学校	
社会	副委員長（校長）	大場　真	幸並中学校	
	教諭	井出　祐史	本町小学校	
	教諭	堀　祥子	鳩ケ谷小学校	
	教諭	鈴村　聡	岸川中学校	
	教諭	坂本　友紀	榛松中学校	
算数・数学	副委員長（校長）	中島　俊幸	榛松中学校	
	主幹教諭	宅野　紘一	飯仲小学校	
	教諭	櫻田　貴昭	桜町小学校	
	教諭	田邉　悦子	安行中学校	
	主幹教諭	中嶋　康雄	戸塚中学校	
理科	副委員長（校長）	寺田　和成	八幡木中学校	
	教諭	三宅　ゆうみ	前川小学校	
	教諭	肥田　彩有里	前川東小学校	
	教諭	湯淺　友譲	北中学校	
	教諭	板橋　佳子	上青木中学校	
外国語活動・外国語科	副委員長（教頭）	奥墨　伸夫	小谷場中学校	
	教諭	樋地　香奈子	戸塚綾瀬小学校	
	教諭	深町　知哉	里小学校	
	教諭	岩橋　壽弘	岸川中学校	
	教諭	金子　容也	鳩ケ谷中学校	

２　任期

平成３１年４月１７日から平成３４年３月３１日まで

議案第５９号

川口市児童生徒徳力向上推進委員を任命することについて

川口市児童生徒徳力向上推進委員会設置要綱第３条の規定により、川口市児童生徒徳力推進委員を任命することについて、別紙のとおり議決を求める。

平成３１年４月１日提出

川口市教育委員会教育長　　茂　呂　　修　平

1　任命をする者

部会等	職名	氏名	所属	備考
道徳部会	副委員長（校長）	髙村　美惠	戸塚南小学校	再
	教頭	岡本　賢一	神根小学校	再
	教諭	丸山　理佐	元郷南小学校	新
	教諭	鈴木　奈美	朝日東小学校	新
	教諭	澤入　澄佳	戸塚東小学校	再
	教諭	松田　祐介	芝東中学校	再
	教諭	小山　泰昇	南中学校	新
特別活動部会	副委員長（校長）	髙橋　眞一	神根東小学校	再
	教頭	岡　和香子	領家小学校	新
	主幹教諭	大森　雅之	本町小学校	再
	教諭	浅賀　詩織	戸塚南小学校	新
	教諭	野口　絵美	安行中学校	再
	教諭	関　隆敏	元郷中学校	新

2　任期

平成３１年４月１７日から平成３２年３月３１日まで

議案第６０号

川口市児童生徒体力向上推進委員を任命することについて

川口市児童生徒体力向上推進委員会設置要綱第３条の規定により、川口市児童生徒体力向上推進委員を任命することについて、別紙のとおり議決を求める。

平成３１年４月１日提出

川口市教育委員会教育長　　茂　呂　　修　平

1　任命をする者

部会等	職名	氏名	所属	備考
第１部会 （調査広報）	副委員長（校長）	髙田　晶子	里中学校	再
	教諭	吉田　裕太郎	東本郷小学校	新
	教諭	髙見　勇太	東領家小学校	再
	教諭	杉山　亜希	上青木中学校	再
	教諭	松島　由幸	十二月田中学校	再
第２部会 （体つくり）	副委員長（校長）	佐藤　明美	新郷東小学校	新
	教諭	永田　拡輝	前川東小学校	新
	教諭	松川　奈美子	根岸小学校	新
	主幹教諭	長嶋　史敬	東中学校	再
	教諭	藏前　亜理佐	十二月田中学校	新
第３部会 （健康推進）	副委員長（校長）	戸谷　弘幸	南中学校	再
	養護教諭	田坂　美和	芝樋ノ爪小学校	再
	養護教諭	立川　芙美佳	鳩ケ谷中学校	新
	栄養教諭	志村　歩美	飯塚小学校	新
	栄養主任	堀口　瑞	在家小学校	再

2　任期

平成３１年４月１７日から平成３２年３月３１日まで

議案第６１号

川口市児童生徒ライフスキルかわぐち推進委員を任命することについて

川口市児童生徒ライフスキルかわぐち推進委員会設置要綱第３条の規定により、川口市児童生徒ライフスキルかわぐち推進委員を任命することについて、別紙のとおり議決を求める。

平成３１年４月１日提出

川口市教育委員会教育長　　茂　呂　　修　平

１　任命をする者

職名	氏名	所属	備考
副委員長（校長）	坂井　知子	小谷場中学校	再
教頭	岩澤　奈々子	戸塚西中学校	再
教諭	西牧　孝子	安行小学校	再
教諭	長本　翔太郎	木曽呂小学校	再
教諭	金井　信吾	芝西小学校	再
教諭	後藤　百湖	十二月田小学校	新
教諭	滝口　寛幸	東中学校	再
教諭	松尾　隆継	元郷中学校	新

２　任期

平成３１年４月１７日から平成３２年３月３１日まで

議案第６２号

川口市立高等学校進路カウンセラーを委嘱することについて

川口市立高等学校進路カウンセラー設置要綱第３条の規定により、次のとおり川口市立高等学校進路カウンセラーを委嘱することについて、議決を求める。

記

１　委嘱をする者

氏名	配属先	再・新
岡　野　　豊	川口市立高等学校	再
松　村　麻　利	川口市立高等学校	再

２　任期

平成３１年４月３日から平成３２年３月３１日まで

平成３１年４月１日提出

川口市教育委員会教育長　　茂　呂　　修　平

議案第６３号

川口市学校ファーム推進校を委嘱することについて

このことについて、川口市学校ファーム推進事業実施要項第２項の規定により、指定校を委嘱することについて、別紙のとおり議決を求める。

平成３１年４月１日提出

川口市教育委員会教育長　　茂　呂　　修　平

１　委嘱をする学校

学校名
川口市立青木北小学校
川口市立領家小学校
川口市立上青木南小学校
川口市立差間小学校
川口市立安行東小学校
川口市立芝中学校
川口市立安行中学校
川口市立小谷場中学校
川口市立安行東中学校
川口市立戸塚西中学校

２　根拠

川口市学校ファーム推進事業実施要項第２項

３　任期

平成３１年４月１７日から平成３２年３月３１日まで

平成３０年度
学校自己評価重点目標シート綴

川口市教育局学校教育部学務課

平成30年度学校評価のまとめ（達成度）

【小学校】〈個数〉

	A	B	C	D	計
組織運営	47	38	0	0	85
教育課程	39	55	1	0	95
開かれた学校づくり	58	26	0	0	84
教職員の資質向上	33	48	0	0	81
施設・設備等の管理	53	31	1	0	85

【小学校】〈割合（%）〉

	A	B	C	D	計
組織運営	55.3	44.7	0.0	0.0	100
教育課程	41.1	57.8	1.1	0.0	100
開かれた学校づくり	69.0	31.0	0.0	0.0	100
教職員の資質向上	40.7	59.3	0.0	0.0	100
施設・設備等の管理	62.3	36.5	1.2	0.0	100

【基準】

A	ほぼ達成　（8割以上）
B	概ね達成　（6割以上）
C	変化の兆し（4割以上）
D	不十分　　（4割未満）

【中学校】〈個数〉

	A	B	C	D	計
組織運営	24	22	4	0	50
教育課程	8	37	1	0	46
開かれた学校づくり	33	14	1	0	48
教職員の資質向上	13	31	0	0	44
施設・設備等の管理	19	24	1	0	44

【中学校】〈割合（%）〉

	A	B	C	D	計
組織運営	48.0	44.0	8.0	0.0	100
教育課程	17.4	80.4	2.2	0.0	100
開かれた学校づくり	68.7	29.2	2.1	0.0	100
教職員の資質向上	29.5	70.5	0.0	0.0	100
施設・設備等の管理	43.2	54.5	2.3	0.0	100

【高等学校】〈個数〉

	A	B	C	D	計
組織運営	1	1	0	0	2
教育課程	0	2	0	0	2
開かれた学校づくり	2	0	0	0	2
教職員の資質向上	1	1	0	0	2
施設・設備等の管理	2	1	0	0	3

【高等学校】〈割合（%）〉

	A	B	C	D	計
組織運営	50.0	50.0	0.0	0.0	100
教育課程	0.0	100.0	0.0	0.0	100
開かれた学校づくり	100.0	0.0	0.0	0.0	100
教職員の資質向上	50.0	50.0	0.0	0.0	100
施設・設備等の管理	66.7	33.3	0.0	0.0	100

【幼稚園】〈個数〉

	A	B	C	D	計
組織運営	1	3	0	0	4
教育課程	3	2	0	0	5
開かれた学校づくり	3	2	0	0	5
教職員の資質向上	3	2	0	0	5
施設・設備等の管理	2	3	0	0	5

【幼稚園】〈割合（%）〉

	A	B	C	D	計
組織運営	25.0	75.0	0.0	0.0	100
教育課程	60.0	40.0	0.0	0.0	100
開かれた学校づくり	60.0	40.0	0.0	0.0	100
教職員の資質向上	60.0	40.0	0.0	0.0	100
施設・設備等の管理	40.0	60.0	0.0	0.0	100

【幼稚園・小学校・中学校・高等学校】〈個数〉

	A	B	C	D	計
組織運営	73	64	4	0	141
教育課程	50	96	2	0	148
開かれた学校づくり	96	42	1	0	139
教職員の資質向上	50	82	0	0	132
施設・設備等の管理	76	59	2	0	137

【幼稚園・小学校・中学校・高等学校】〈割合（%）〉

	A	B	C	D	計
組織運営	51.8	45.4	2.8	0.0	100
教育課程	33.8	64.8	1.4	0.0	100
開かれた学校づくり	69.1	30.2	0.7	0.0	100
教職員の資質向上	37.9	62.1	0.0	0.0	100
施設・設備等の管理	55.4	43.1	1.5	0.0	100

※参考（平成29年度）

	A	B	C	D	計
組織運営	55.2	44.1	0.7	0.0	100.0
教育課程	42.1	55.9	2.0	0.0	100.0
開かれた学校づくり	67.5	32.5	0.0	0.0	100.0
教職員の資質向上	43.7	55.6	0.7	0.0	100.0
施設・設備等の管理	56.4	43.6	0.0	0.0	100.0

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）　自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
本町小	組織運営	○目指す学校像に向けPDCAサイクルにおいて特にC・A（見取り・工夫改善）を意識した組織的な取組	○特にC・A（見取り・工夫改善）を意識した学校運営への参画が、個々の教職員に定着しつつある。保護者による学校評価「組織運営」に係る項目のA＋B（平均）H29　97.6%→H30　98.4%	B	・組織の中の一員としての意識を常に持ちつつ、より積極的に学校運営に参画する若手教員のさらなる育成。	6名
	教育課程	○「基礎力」「思考力」「実践力」を身に付けた児童の育成を目指した授業力の向上、指導法の工夫改善	○各プロジェクトチームリーダーを要とし、計画的・継続的な授業の改善・充実を推進。保護者による学校評価「学習指導」に係る項目のA＋B（平均）H29　93.1%→H30　93.5%	A	・小学校社会科教育全国大会の発表当日の授業の様子から、今の時代に求められる授業の質の高さに驚いた。	
	開かれた学校づくり	○外部の教育力を、適切かつ更に効果的に導入し、双方向による確かな連携の一層の深化	○国県市、地域等の関係諸機関等と連携を図り、高い専門性を有する外部の教育力の効果的な活用。保護者による学校評価「開かれた学校づくり」に係る項目のA＋B（平均）H29　94.7%→H30　95.9%	A	・本町地域の様々な業種の方が学校に対して大変協力的であり、学校と地域がよい関係にあることがわかる。	
	教職員の資質向上	○年次に応じ主体的に研修等に取り組むことができる教職員としての資質向上	○授業研究、指導者を招聘した研修会等の計画的な実施と恒常的な授業改善の継続 ○ボトムアップ型、体験型の職員研修を通し、「教職員事故ゼロ」に向け新たなスタートと、教育公務員として自己管理の徹底	B	・工夫された授業も多く、若い教員がしっかりと研究に取り組んでいると感じる。 ・事故防止については、新しく着任した教員も含め、ぜひ継続した取り組みをお願いしたい。	
	施設・設備等の管理	○常に潤いある学舎づくりを目指し教育活動を円滑に行うため、効果的に予算を活用した施設・設備の管理の継続	○複数の目による安全点検を通し、課題ある箇所を早期発見・対応することで、予算を適切かつ効果的に運用	A	・PTA組織とよく連携を図った教育環境づくりがなされている。今後も子供たちのために連携を密に図り、より良い教育環境を整えていただきたい。	
幸町小	組織運営	○教職員一人一人について、学校運営における責任を明確にし、着実に職責を果たす組織作り □教職員が自らの特長を生かして学校運営に参画	○一人一役により責任の所在が明確になり、高い意識をもって仕事に従事 □校務支援システムの活用により、教職員個々による情報発信による学校運営の実現	A A	・責任感をもって子供達のために教育活動をお願いしたい ・全教職員で共通理解を大切にしながら職務にあたって欲しい	10名
	教育課程	○特別支援学級と通常学級との交流活動を実現 □地域の方々と協働で行う教育実践	○通常学級における特別支援教育の理解を目的とした授業を実施したことにより、児童や職員の醸成 □6学年での日本文化交流では公民館を活用	A A	・特別支援学級と通常学級の交流の様子を知りたいというニーズに応えてほしい ・地域の方や保護者を活用した教育活動の実施、公民館との連携をさらに発展を願う	
	開かれた学校づくり	○多くの保護者がPTA活動等に参加 □学校運営協議会の円滑運営から地域と学校の接点となる機会の増加 △ホームページの年間アクセス数100000	○メール配信によりSSSへの連絡等スムーズに実施 □学校運営協議会の議事録を公開し、家庭地域への活動内容の理解、新規に学区内防災訓練を立案・実施 △HPの年間アクセス数は10000を突破し140000	A A A	・SSS等との協力を密にし今後もより一層の工夫をして開かれた学校づくりを願う	
	教職員の資質向上	○全職員で若手教員の育成	○若手教員が熱心に研修に参加	A	・今後より一層社会や保護者の視線が厳しくなるがチームとしての教育実践を期待する	
	施設・設備等の管理	○新校舎完成記念大運動会を実施 □体育施設開放委員会において、校庭の使用についての検討及び運用 △新校舎の施設・設備を生かした教育活動の充実	○先進校視察を実施し新校庭をフルに活用した運動会を実施 □体育施設開放委員会の運用方法を制定 △図書室の有効活用やランチルームでの誕生日給食を実施	A A A	・新施設を有効的に活用した教育活動の実施を願う ・学校開放において今後もルールに則った運用をお願いする	
仲町小	組織運営	○企画委員会での協議内容の充実させ共通理解を図り、学年・学級経営の充実を図る。	○PDCAサイクルを確実に機能させ改善点を生かすことができた。	B	・教職員間の円滑な連携と協働体制の充実	5名
	教育課程	○新学習指導要領に対応した指導・評価の充実 □体力向上に関する研究の推進	○初任者指導や学年を中心に共通理解を図り指導力の向上に努めた。 □外で遊ぶ児童の増加がみられるなど進んで体を動かす児童が増えた。	B A	・運動会や学校行事では全力で取り組む姿が見られた	
	開かれた学校づくり	○地域との連携をさらに充実させ、積極的な情報公開を行う。	○ホームページは毎日更新し、学区内4町会との連携を充実させた。	A	・ホームページはとても素晴らしい。楽しみにしている。 ・子供や先生たちには地域にとても関わってもらっている。ありがたい。	
	教職員の資質向上	○倫理確立委員会の効果的な実施 □初任者研修や示範授業を通して指導力の向上を図る。	○教職員事故ゼロを達成 □示範授業には多くの教員が協力し若手の指導料向上に効果を上げた。	A A	・体力向上と共に学力向上・徳力向上への更なる推進	
	施設・設備等の管理	○安全点検の確実な実施 □特別教室の充実	○日常の安全点検の意識の向上が図られた。 □安全面での配慮や心を育む環境づくりができた。	B B	・安心･安全な学校づくりと計画的な環境づくりの推進 ・絵画や書写の作品等で明るい雰囲気である。	

別添資料１-4-

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
上青木小	組織運営	○教職員の長所を融合と、より高い学校運営参画意識と相互協働体制の強化。 (次年度組織を視野に入れた人材育成)	○良好な人間関係と信頼関係の構築 ミドルリーダーが育ち、学校の中心としての活躍	A	・校長先生の指導の下、一丸となって発展することを望む。 ・教職員間のコミュニケーションをより一層深めることを望む。 ・次年度に向けての取組みを評価する。	5名
	教育課程	○移行期の教育課程の円滑な実施と学力・規律ある態度・体力を相互に関連させながら、質を向上する学習指導の徹底	○外部の指導者を招聘した研修の実施 ○1時間の公開授業を実施と管理職のフィードバック実施	A	・大変努力されていることに評価する。 ・今後も熱意ある指導をお願いしたい。	
	開かれた学校づくり	○教職員と保護者・地域との連携のため、積極的に対話し、地域と共に生きる・共に育てる学校の創造	○すずかけ祭りの成功 ○夏の研修で民生委員・主任児童員との情報交換 ○地域からの情報増	B	・協力できることは、今後も応援する。 ・登校が正門ではなく、南門登校の現実が残念。 ・これからの改善にも期待。	
	教職員の資質向上	○教職員とのコミュニケーションを充実させ、教員としての使命感と人としての人間性を共に高める集団の育成	○ライフステージに応じた指導の実現 ○資質の向上は、継続して自己研鑽 ○教職員事故ゼロのための研修を実施。互いのコミュニケーションを高める取組を実施、継続	B	・教職員は実務以外での経験、体験を深めてより見識を深めることを望む。 ・教職員は子供一人一人に対して向き合って努力されていることを評価す ・今後とも継続してお願いしたい。	
	施設・設備等の管理	○安全・安心して教育活動が展開できる、心のある、あたたかい教育環境の	○窓枠・門の近辺の排水修繕 校庭の傾斜などは継続して市教委に要望 ○明るい掲示物が増え学習環境が充実	B	・今後も継続して掲示物を増やしていただきたい。 ・学校施設が古くても管理には気をつけている様子がうかがえる。 ・老朽化のための点検強化を徹底してほしい。	
元郷小	組織運営	○校長を中心とした組織運営の強化 □一人一人のよさを生かした校務分掌間の連携	○報告、連絡、相談、確認の徹底 □安全教育を中心に据えた連携・強化	A B	・若い教職員が相談できる環境はよい。 ・教職員のよいつながりができている。今後もよい伝統は継続してほしい。	4名
	教育課程	○つながりをつくる言葉の活用 □資質・能力の三つの柱の育成	○全学年の研究授業による授業改善 □授業並びに学習タイムと学習環境の充実	B A	・学力・体力ともに向上していることは大変すばらしい。 ・学習規律のよさが学力の向上につながっている。	
	開かれた学校づくり	○学校情報の迅速かつ的確な提供 □関係機関等を活用した防犯教育の推進	○学校ホームページ、学校便りの充実 □全国初の防犯モラルジレンマ学習の発表	B A	・児童の安全に対する意識をさらに高揚させてほしい。 ・防犯モラルジレンマ学習を元郷小の学びのテーマとして今後もつないでほしい。	
	教職員の資質向上	○防犯モラルジレンマ学習を中心とした指導力の強化 □児童自ら成長を実感できる授業	○児童に生きて働く力を育成する防犯モラルジレンマ学習 □研究協議会等における関係性の構築と深い学び	A A	・先生方のよい点はさらに伸ばし不足な点は育成し補ってほしい。 ・言葉はとても大切。よい言葉遣いを意識してほしい。	
	施設・設備等の管理	○安心、安全、潤いのある環境づくりの推進 □適切な予算執行	○安全点検の確実な実施 □修繕の速やかな対応	A A	・PTAにももっと働きかけ協力してもらうべき。 ・危険な個所を感じ取れる教職員になってほしい。	
飯塚小	組織運営	○学校経営方針・重点にリンクした学年経営、学級経営等の実現	○方策はすべて実行	A	・学校としてのいじめ対策方針の周知をより一層の徹底を期待する ・会計事故がないような取組を期待する	7名
	教育課程	○「飯塚小　学習指導スタイル」の徹底	○方策はすべて実行	A	・異年齢集団での活動は、児童の心の成長にもつながりとてもよい ・様々な体験活動を実施していて、児童への興味関心を活かした教育課程が実施されていてとても,よい	
	開かれた学校づくり	○「飯塚小学校運営協議会」組織作りと運営	○方策はすべて実行	A	・町会や地域に対し、学校の教育活動を発信して、学校に足を運べるようにしたほうがよい ・80周年記念行事に関わり、後援会とも連絡をとりあいながら運営にあたってほしい	
	教職員の資質向上	○ライフステージに応じた研修を企画、運営	○方策はすべて実行	A	・教職員の異動が多く大変だと思うが、研修等で計画的に教職員の育成を図ってほしい	
	施設・設備等の管理	○教材用備品更新5か年計画策定	○今年度は埼玉県食育指導力向上研究協議会委嘱を受けての研究活動に人的資源を集中投入	C	・校舎も老朽化し大規模修繕等必要である	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝小	組織運営	○経営参画意識の醸成 □機動的な学校運営の実現 △PDCAサイクルを生かした経営改善	○「経営参画意識をもち業務を遂行した」9割達成 □経営方針の明確化による運営委員会の円滑な実施 △評価サイクル「C」の充実	A A B	・職員の経営参画意識が高い。 ・校長の経営方針が明確であり浸透している。 ・自己中心的な保護者もいるが学校を応援したい。	5名
	教育課程	○授業改善による学力向上 □教育課程の着実な実施と道徳科準備 △学級力向上プロジェクトの実施	○課題の明確化とまとめの一体化　家庭学習手引き活用 □授業時数確保と指導計画の改善　学校応援団の活用 △学級状況の可視化とPDCAサイクルの実施	B A B	・多岐にわたるゲストティーチャーの活用が素晴らしい。 ・道徳科をとおして主体的対話的で深い学びが充実してきた。 ・学力向上にもつながるので継続してほしい。	
	開かれた学校づくり	○学校応援団の充実 □ホームページリニューアル △相談機会の充実	○円滑な活動推進のシステムづくり □9月全面リニューアル　月2回の更新継続中 △日常的な相談に加え、年3回のなかよし相談日実施。	A A A	・埼玉県代表になったことは栄誉あることだ。 ・職員の苦労のおかげと感謝している。 ・風通しがよい。いじめ防止のよい機会にしてほしい。	
	教職員の資質向上	○諸調査に基づく課題の明確化 □研修の充実 △倫理確立委員会の効果的運用	○諸調査による課題の明確化　数量関係指導系統表作成 □指導者を要請しての研究授業の実施 △教職員事故ゼロの継続　ワークライフバランスの推進継続	B A B	・パズ学習を研修に導入した成果は大きい。 ・教師の指導力の向上が見られる。学び合う雰囲気がよい。 ・多忙であるが健康に留意してほしい。	
	施設・設備等の管理	○リスクマネージメントの充実 □計画的・日常的な安全管理と環境整備 △芝生及び校舎老朽化に伴う修繕	○カリキュラム作成完了 □芝小安全の日　安全点検の改善　満足度95.7% △市教委と連携対応し修繕対応	A A B	・価値あるものを保護者とも共有をしてほしい。 ・安全指導が徹底している。校内がきれいになった。 ・開校150周年に向け新校舎建設を望む。	
新郷小	組織運営	○明確な役割意識のもと、軽快なフットワーク、鉄壁のカバーリングによりチーム新郷小の学校力の向上	○目指す学校像に向け、認定システムの取組が機能し、教職員・保護者へ浸透	A	・若い教職員が多い中、川口の教職員集団の実現に向けて熱心によくやっている。	4名
	教育課程	○ユニバーサルデザインの視点を生かした授業実践による学力体力の向上	○授業改善により低位層の現象、さらに思考力表現力の育成を目指した諸活動の推進	B	・わかる、できる授業を全員が実感できる取り組みを続けてほしい。	
	開かれた学校づくり	○保護者の学校教育への関心・理解が高まる取組の実践、効果率10%アップ	○地区小中6校で連携し家庭学習を支援する取組実施し、効果あり継続中	B	・子育ての両輪である学校と保護者が健全な関係を作り、よりよい教育をつくっていくことが大切。	
	教職員の資質向上	○人事評価制度や教職員育成計画を活用し、力量ある教職員の育成	○面談による指導の実施、授業改善、保護者との連携などユニバーサルデザインのマインドを持つ教員の育成	B	・教師は最大の教育環境。研修は重要。 ・教員が子供の個を重視しながら授業を進めていると感じる。	
	施設・設備等の管理	○潤いのある教育環境づくりのため組織的計画的な施設設備の安全点検を定期的に実施	○組織的、計画的に安全点検を実施、早期発見・早期改善に努めた	B	・校舎の老朽化については教育委員会と十分に連絡を取り、早期解決を望む。	
神根小	組織運営	○何事も共通な課題を持ち解決に当たる姿勢を持つ。	○教員同士が互いを助け合う雰囲気がとてもよくなった。組織として動けた。	A	・教職員が変わっても、コミュニケーションをしっかり保ち、管理職がきちんと指導してこのままの雰囲気を保ってほしい。	5名
	教育課程	○全教職員が、ユニバーサルデザインの視点に立ちわかる授業を実践する。 □家庭学習の習慣化確立等、個と全体の指導の組み合わせで、学習意欲を高め学力向上を図る。	○ユニバーサルデザインの視点に立った授業を多くの教員が実践していけるようになった。 □基礎学力を身に着けさせるために丁寧な授業を実践したところ、学力テストの結果も向上した。	B B	・学力向上に、すべての力を投入するぐらいの気概でやってほしい。 ・学校をレジャー化せず、人生100年時代の基礎をしっかり作ってほしい。	
	開かれた学校づくり	○学校評価から課題を絞り、学校・保護者・地域との連携を強化、充実させていく。	○地域保護者の方が、今までの流れに則り学校に足を運んでくれ支援を頂くことができた。	A	・若い保護者が増えた。子供の教育だけでなく、親にも指導する場面がほしい。	
	教職員の資質向上	○学力・体力更徳力の現状を分析し、学び続ける教師集団を構築する。	○授業を見て学ぶことを多く実践した。理論で学び実践で目で見たことで指導力が向上したと感じている。	B	・忙しいとは思うが、学力向上に力を注いでほしい。	
	施設・設備等の管理	○教職員の安全管理危機管理意識を高め、学校事故を未然に防ぐ。	○日常の安全点検と月1回の定期点検、市教委との連携により計画的な修繕や管理に努める事ができた。	B	・授業の妨げになるような音がでる工事は、教育委員会等に言って、時間の変更等をしたほうが良いのではないか。	

別添資料１-6-

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
青木北小	組織運営	○機動的運営のための改善点の計画課、取組の焦点化 □ベテラン・中堅教員から若手教員への指導技術等の継承 △小中連携教育の推進（H30・31委嘱）	○会議回数の精選は実現。会議時間の確保と内容の重点化については検討課題。 □意図的な分掌配置・学年構成によりOJTが実現。 △青木中学校区での研究を推進中。	B A A	・出前授業、交換授業等、積極的な取組を期待する。	6名
	教育課程	○新学習指導要領への円滑な移行及び授業改善 □体力向上に向けた授業改善、体育的活動の充実 △	○児童の意欲を引き出す問題解決的な授業展開の工夫の見届け・確認 □業間運動の工夫による児童の意欲の喚起	B B	・地域人材を活用した体験活動の充実を望む。	
	開かれた学校づくり	○学校応援団の活用及び活用場面の工夫 □学校ホームページを活用した情報発信	○応援団組織を見直すための会議の開催 □児童の活動の様子の発信	A A	・学校応援団活性化のために、登録方法及び運用の見直しが必要。	
	教職員の資質向上	○面談及び教室訪問を活用した指導助言 □経験に応じた研修参加による資質向上 △教職員の負担感軽減の取組の推進	○計画的な教面談及び教室訪問の実施 □年次研修への参加及び指導者を招聘しての校内研修の実施 △効率的な教材研究・授業準備、分掌業務の推進方法についての見直し	A A B	・個々の力量に応じた働き方の見直しを推進すること。	
	施設・設備等の管理	○施設設備の計画的な修繕 □計画的な予算執行と適切な文書管理	○安全点検による修繕個所の早期把握及び修繕の実施 □管理職・事務主幹の細やかな連携による確実な予算執行及び文書管理	A	・引き続き、優先順位に基づいた計画的な修繕を実施すること。 ・公費の使途を見直し、家庭からの徴収金を減らす方向の検討を期待する。	
領家小	組織運営	○学校教育目標の具現化に向け教員の学校経営に対する参画意識と個々の責任感の育成 □本校の良さである「凡事徹底」を継承・発展	○学校評価・組織運に関し良好な結果。PDCAサイクル機能の発揮され、学校経営への参画意識が向上 □凡事徹底を基盤とし、教育活動全体を通した実践。若手教員の指導力が課題	A B	・本校の現実・将来が見えた、PDCAサイクルの活用など、 お互いが補完し合える関係が感じられた。 ・いじめについて、学校はいじめられている被害者の気持ちが分かる子の育成を望む。	4名
	教育課程	○教育課程の完全実施、分かる・個に応じた授業の充実 □一人一授業を実施し、指導の充実 △国。県学テストの5Pの成績の向上	○授業訪問での指導や助言を通しユニバーサルDの視点での授業展開が行われ。指導力の向上 □授業改善への意識の向上、若手教員の効果を実感 △数値目標を達成できなかった。学力向上研修等を開催し、思考場面への焦点化	B A C	・先日の授業研究会では、先生はファシリテーターとして児童の意見を引き出しており賞賛に値する。	
	開かれた学校づくり	○教育活動の積極的な公開と関係諸機関の協力を得ると共に説明責任を図る □保護者・地域の思いや願いに応える	○□災害、校外学習など迅速な情報提供の実施 □生徒指導上の案件が複数発生。解決に向け対応を継続 □地域学校応援団の方々との連携と防災での新規連携	A B	・メール配信、立哨指導、問題行動等など迅速な対応の継続を望む。 ・家庭・地域・学校のトライアングルで取り組みを望む。 児童は相談したくても言えない。保護者と学校との関係が密になることを望む。 ・民生児童委員へ連絡がない。必要に応じた連携を望む。	
	教職員の資質向上	○児童や保護者の願いや期待を真摯に受け止め、積極的に応える教職員体制の構築と継承 □教職員の資質・指導力向上と健康の増進	○主要分掌への若手の登用による意欲喚起 ○教職員による児童理解不足による問題行動の発生 □教職員事故の発生ゼロ。危機意識の共有化	B A	・領家小の教員は子供たちのためによくやってくれている。	
	施設・設備等の管理	○児童の命を守ることが最優先。日頃より危機意識の向上	○日常・定期・臨時の安全点検実施。 ○修繕場所の即日確認、修繕3日以内の対応の徹底 ○施設設備の瑕疵による事故ゼロ	A	・会議室のエアコンの設置、床の修繕など、校舎内外の安全な環境が整っている。 ・通学路上での「止まれ」の補修など、要望から修繕まで1年以上かかる。安全標識なので早急な対応を望む。 ・歩行者用信号機の設置を毎年要望しているが困難。	
舟戸小	組織運営	○「チーム舟戸」の意識を高め、学校の組織力の向上。 □教頭・主幹も全校的視野に立ち、計画・立案・実行	○若手の指導をベテランが行い、両者の指導力が向上 □スムーズな組織運営による様々な学校課題の解決	A B	・校長を始め全教職員が一丸となり熱心に取組んでいる	4名
	教育課程	○全教科授業の質的改善による学力・徳力・体力の向上	○具体策の実践により学力・徳力・体力向上が実現	A	・学習の手引きの活用が効果的。体力向上にも更なる指導を望む	
	開かれた学校づくり	○保護者・地域に積極的に情報発信	○地域の方々を計画的に招き、HPや学校便りで情報発信	A	・地域の人材を熱心に活用している点が評価できる	
	教職員の資質向上	○確かな指導力と高い見識のある教職員の育成	○幼小中の交流活動や授業研究により、授業改善	B	・96％の家庭が満足し、教職員は信頼されている。	
	施設・設備等の管理	○きれい・安心・安全な学校づくり	○迅速な修繕と整備	A	・概ね整理整頓が行き届いている。防犯カメラの増設を望む	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
十二月田小	組織運営	○目指す学校像の実現に向けて教科経営・学年、学級経営、各自の校務分掌での実効的な取組の実践	○学校課題についての共通理解は浸透しつつ、その成果は随所に表れている（課題研究・校務分掌での取組）。学校評価においてもA＋Bの評価は100%達成。	A	・情報の共有化は重要です。継続してください。	12名
	教育課程	○教育課程の質的・量的な管理を確実な実施	○週案、教室訪問・授業参観による教育課程の管理、新学習指導要領の趣旨を生かした授業の実践に向けた職員の意識は高まっている。	B	・児童が落ち着いています。	
	開かれた学校づくり	○学校応援団を中心とした地域に開かれた魅力ある学校づくりの推進	○学校応援団会議の計画的な開催・学区内保育所との交流（継続）・十二月田中学校との新たな連携の取組（引渡し・キャリア教育等） ○ホームページの刷新によるアクセス数の増加	A	・担当者が変わってもスムーズに引継ぎができるようにしてください。	
	教職員の資質向上	○実効的な校内研修の取組（学校課題研究）	○算数科の研究授業は12回実施し、そのすべてに指導者を招聘し、全員が個別の指導を受けることで授業力の向上を図ることができた。	B	・児童の実態に即した取り組みでよいと思います。	
	施設・設備等の管理	○計画的・日常的な安全点検の実施と即時対応	○施設の老朽化が目立つが、計画的に補修を進められた。 児童数の増加に伴う児童の安全対策（カーブミラーの設置・混雑緩和のための1年昇降口の設置等）の実施	A		
飯仲小	組織運営	○一層充実した学校運営の実現 □各主任がリーダーシップを発揮し、組織での活動の活性化	○課題や児童の実態を踏まえて改善し、取り組むことができた。 □「報告・連絡・相談・確認」を徹底し、組織で活動できた。	B B	・本年度の目標がほぼ達成できた。 ・教職員間の連携を密にし、校内の情報を学校運営協議会や保護者、地域に一層発信してほしい。	9名
	教育課程	○確かな学力、体力の定着、向上を目指した指導、取り組み □規範意識と豊かな心の育成	○調査の結果を分析し、課題を明確にした上で、授業時数の確保と授業の充実を図った。 □道徳教育の要である道徳科を研究の柱とし、授業研究会で学び合い、日々の授業の充実に生かすことができた。	B A	・学力については安定しているが、更なる向上への取り組みを望む。 ・道徳科について全教職員で共通理解を図り、授業づくりに生かしてほしい。	
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会等との連携の強化 □学校応援団等の積極的な活用	○学校運営協議会委員と教職員、民生委員と教職員の懇談会を実施。学校運営協議会だよりを年4回発行。 □積極的に活用し、より質の高い授業を実施できた。	A A	・学校運営協議会の成果を上げることができた。取り組みを一層発信してほしい。 ・学校応援団の組織や活動内容を整理してほしい。広報してほしい。	
	教職員の資質向上	○ライフステージに応じた、指導力の向上 □服務の厳正とワークライフバランスの工夫	○ライフステージに応じた研修会に積極的に参加することができた。研究授業、研究協議会等で授業力の向上を図ることができた。 □倫理確立委員会の実施、日常の指導を通し、服務の厳正に努めた。	B B	・児童の実態を踏まえて、実情に応じた授業づくりをしてほしい。 ・学校を中核とし、保護者や地域と協力しながらワークライフバランスを工夫してほしい。	
	施設・設備等の管理	○施設による事故防止の徹底 □落ち着いたきれいな教育環境づくり	○安全点検等の実施、迅速な修繕により安全な環境づくりができた。 □季節感のある掲示物、児童の学ぶ意欲を高め、活用できる掲示物を作成することができた。	B B	・全教職員が児童の安全面を大切にし、教育活動をしている。継続してほしい。 ・掲示物の充実とともに清掃活動により、よりよい環境づくりに取り組んでほしい。	
並木小	組織運営	○伝統の継承と発展のための挑戦	○日課表等の工夫改善で活動時間の確保による組織的な活動	B	・教職員が協力して取り組んでいた。	5名
	教育課程	○学力の質的向上と指導方法の工夫改善	○「学習法略」「非認知能力の育成」の周知と意識向上	B	・今後は、「非認知能力」による授業や児童の変容と成果を把握する必要がある。	
	開かれた学校づくり	○関係機関との連携・信頼・協力関係の構築により、学校と地域が一体となった教育活動の推進	○学校運営協議会の導入を視野に入れた関係団体の組織再編成	A	・学校応援団を整理したことで、連絡体制の向上が見られた。	
	教職員の資質向上	○学び合おうとする同僚性が育つ互見授業	○体育科授業研究会や市の委嘱研究発表会に向けて全職員で取り組む研究実践	A	・来年度の全国学校体育研究大会における実践発表に向け、研究実践を積み重ね、成果を披露してもらいたい。	
	施設・設備等の管理	○適切な点検による安心安全な環境整備	○安全管理体制の強化と環境整備の実施	B	・早急な修繕が行われているが、プールの修繕について検討していけるとよい。	

別添資料１-8-

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
安行小	組織運営	○PDCAサイクルに基づく組織的活動の推進	○改善案を次年度に生かす組織的活動が実現 ○全員の参画意識が不十分	B	・学校運営が基本である。	8名
	教育課程	○学ぶ意欲の向上と授業の工夫・改善による学力の向上 □個に応じた指導による基礎学力の向上	○「考え、話し合い、学び合う学習」の研究を実施 ○授業の工夫・改善を学力向上につなげることが課題 □個々の学ぶ意欲が向上	B B	・授業研究発表会の評価を生かしてほしい。	
	開かれた学校づくり	○積極的な情報の発信と収集 □学校応援団と連携した地域の教育力の活用	○保護者アンケート結果がよくできたが68％で不十分 □保護者アンケート結果がよくできたが70％で不十分	B B	・学校応援団の活用、地域への安全指導を依頼する。	
	教職員の資質向上	○学び合いと各種の研修による指導力の向上	○各種の研修会への意欲的な参加 ○校内研修による学び合いがやや不十分	B	・先生の授業に関する向上心が伺える。	
	施設・設備等の管理	○定期と日常の点検による安全管理の徹底 □学習環境の安全と整備	○安全管理の徹底により、事故はなし □修繕と計画的な掲示活動により、よい学習環境	A A	・教室の整理整頓や掲示物に学級差がある。	
原町小	組織運営	○教職員が組織の一員としての自覚をもち、学校運営へ参画しようとする意識の高揚	○全職員による共通理解、共通行動を実現（教員による学校評価「校長を中心として意欲的に目標を達成しようとしている」97．4％）	A	・校長、教頭を中心によくまとまっている ・先生方の熱心さが伝わり、指導が必要なときもチームで連携し、根気よく行っている	11名
	教育課程	○知・徳・体のバランスの取れた教育活動の推進	○新体力テストA+B+C 97.6%→98.2%、A+B 83.7%→86.3%、保護者による学校評価「学校教育目標にそった教育活動」96％	B	・子供たちは授業中よく集中しており、学ぶ環境が整っている ・体力向上に対する子供たちの自主的な意欲が顕著である ・体力、学力を高い水準で維持するのは大変かと思うが、今後も期待する	
	開かれた学校づくり	○PTAや地域の声を教育活動に生かし、地域とともにあるを学校をつくることの推進	○年3回の学校公開、子供の作品掲示、行事ごとのHPの更新（HPは8月以降4000回の閲覧）。保護者による学校評価「子供たちの学習の様子がわかる工夫」95％、「保護者と力を合わせた学校教育」95％	A	・ホームページは高く評価できる ・地域からの要望を聞いて、子供たちを中心に気持ちのよいコミュニケーションを取っている	
	教職員の資質向上	○主体的・対話的で深い学びの授業展開を推進し、新しい学力観に迫る授業実践を行なえる教職員の育成	○市教育委員会の協力を得て各教科の授業研究会を行い本校の課題を追求（指導主事を招いての研修会8回実施）	B	・教師は熱意をもって子供たちと向かい合っている ・児童の主体性を伸ばすことのできる教職員の育成が課題である ・現代にあった教育を常に研究し続けなければならない	
	施設・設備等の管理	○安心・安全な施設設備の管理と美しく潤いのある環境づくり	○危機管理意識を常にもち、安全点検を確実に行い、施設設備や事務会計事故は0を実現	A	・校内の隅々まで点検が行き届いていて、安全な環境を整えている ・施設が古いので、早めに修繕し、今後も事故がないようにしていただきたい	
前川小	組織運営	○当事者意識を持ち、主体的な取組を行える組織の構築	○「自分ごと」として捉えることが当たり前であり、自らの意見を表現し、人の話に耳を傾けるボトムアップ型の組織体制が実現（学校評価項目9割以上を達成）	A	・授業規律が整っており、子供たちが落ち着いて授業に臨めている ・校長をはじめ全職員が全力で子供たちを育てている	6名
	教育課程	○「年間指導計画ファイル」が生かされた授業の展開	○ファイルを上手く活用できた教科等や学年もあったが、定期的な見届けに課題	B	・習熟度別の学習にもっと取り組めるとよい	
	開かれた学校づくり	○CSの在り方や現状を教師一人一人が理解しCSとして目指す子供像を保護者・地域と共有	○CSに関する研修会に職員を3回参加し近隣小中学校と合同講演会の実施しにより指導の在り方を共有	A	・基本学区となる町会をはじめ地域と良い関係を築けているので継続してほしい	
	教職員の資質向上	○ミドルリーダーの自覚をもち、職員間で学び合える環境の整備の推進	○校内の自主研修会を、指導者を招聘して全学年で各1回、合計7回の実施	B	・授業を工夫していることがわかるので今後も管理職のサポートを続けてほしい	
	施設・設備等の管理	○「イングリッシュルーム（ER）」の備品等の整備	○ERのメディア、掲示物の環境整備を実現	A	・避難所としての機能も果たせるように地域も協力する	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
戸塚小	組織運営	○人材育成と子供たちのための教育の創造	○学年主任を核とした教育活動充実、指導指針の浸透	B	・若手の教員が多い中、先生方はよくやっている	5名
	教育課程	○学校課題研究の推進、授業改善	○授業改善シートでの授業の自己評価・相互評価	B	・概ね落ち着いて授業に取り組んでいる ・音楽会では例年以上のレベルであり、来年度が楽しみ	
	開かれた学校づくり	○保護者、地域への情報発信と連携・協力	○ホームページリニューアルと「チーム戸塚小」の推進	B	・ホームページをリニューアルし、情報発信が充実した ・新学校応援団により、協力できる方々が増えるとよい	
	教職員の資質向上	○人事評価を活用した資質・能力の向上	○人事評価シートを活用しての業務遂行の推進	B	・体罰などの職員事故が起きないようにお願いしたい	
	施設・設備等の管理	○子供たちにとって潤いのある学び舎づくり	○点検等による安心・安全で美しい教育環境づくり	A	・老朽化しているが、子供たちが清掃を頑張っている	
青木中央小	組織運営	○学年を核とした教育活動の充実と学年経営の充実、研修の充実による指導技術の継承	○企画委員会に中堅・若手教員を参加させ、教員の学校運営への参画意識の肯定評価が90％以上達成	B	・教職員が学校経営方針に沿って共通理解のもと、共通行動・共通指導にあたっている様子がよくわかる。 ・評価は、妥当	6名
	教育課程	○新学習指導要領の目標及び内容を踏まえ、児童の主体的な学びを促し、児童一人ひとりのよさを伸す知・徳・体の調和のとれた教育活動の推進	○学力、徳力向上については「児童伸ばシート」を活用し一人一伸びを80％以上の児童が達成。また、体力向上については、業間マラソン、おはよう運動の年間を通じた実施するとともに、タイヤ飛び、ケンパ、竹馬・一輪車コーナーを新置	A	・児童のあいさつや授業に臨む姿勢、基本的な生活習慣は定着。本年度実施したヤングアメリカンズや卒業生によるピアノ演奏会、遊具の新置など、地域人材の活用も含め、新たな取り組みに今後も積極的に取り組むべき。 ・評価は、妥当	
	開かれた学校づくり	○・学校と保護者、地域との積極的な双方向の関わりを強め、地域に根ざし信頼に応える学校づくりの推進	○・朝読書や授業補助、サマースクール等、延べ100名超の地域人材を活用し、教育活動の充実と相互理解が深まり、児童・教職員と地域との交流が活発化	A	・○今後も学校行事を通じて地域の方々との交流を進め、相互理解と開かれた学校づくりをさらに推進して頂きたい。 ・評価は、妥当	
	教職員の資質向上	○児童一人ひとりを確実に伸ばすために、学び続ける教師集団の育成と、教員の指導力向上	○授業力向上を目指し授業研究を全教員が実施し、個々のレベル・指導力に応じた授業改善を実施	B	・○若手教職員が相当増える中、資質向上は大変だが、活気溢れる学校づくりのため今後も自己研鑽に励んで頂きたい。 ・評価は、妥当	
	施設・設備等の管理	○施設の環境整備と効果的な活用を進め、彩りと潤いのある教育環境の整備	○学校ファームについては、全学年で、菜園・プランター等を活用した野菜・草花の栽培を実施し、潤いのある環境を構築	B	・○整理整頓が行き届き、きれいな環境が保たれている。引き続き、掲示環境の創造と安全指導についてさらに徹底していって欲しい。 ・評価は、妥当	
元郷南小	組織運営	○教職員一人一人の学校運営参画意識を高め、組織的かつ具体的な取組を実行できる学校づくりの推進	○学校経営方針を具体的に示すことで高まった教職員の参画意識が高まり、児童に寄り添う組織的な実践が定着	B	・先生たちがチームワークよくやってくれている。	5 名
	教育課程	○児童の主体的・対話的で深い学びを促す授業改善の推進	○学力の二極化を踏まえた指導形態等の工夫改善を図ることで、一人一人のよさが伸長できる授業への改善が進行	B	・アクティブ・ラーニングへの授業改善に共感した。	
	開かれた学校づくり	○保護者や地域との絆を強め、地域の教育力を活かしながら信頼と期待に応える学校づくりの推進	○時機を捉えての地域との意見交換の場を活かした連携強化の進展	B	・地域防災の観点からも地域とのさらなる連携に努めてほしい。	
	教職員の資質向上	○保護者や地域から信頼される教師集団の育成 □教職員の心身の健康を大事にしながらの活力あふれる風通しのよい職場づくりの推進	○計画的な校内研修の実施により指導力が向上 □教職員とのコミュニケーションを図り働きやすい職場づくりの実現	B	・先生たちは気の毒なくらいよく頑張っている。管理職にはこれまで同様しっかり支えてあげてほしい。	
	施設・設備等の管理	○環境整備と計画的な活用 □諸表簿、会計事務の適正な管理の徹底と、効果的な予算執行	○全教職員での計画的な安全点検の実施 □複数の目による会計事務のチェック体制の徹底化	A	・恵まれた施設・設備を十分に生かして安全で効果的な教育活動を行っている。 ・引き続き適切な管理をお願いしたい。	

別添資料１－10－

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）　自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝西小	組織運営	○リーダーの育成 □3年度のリーダーの育成	○学校運営への参画及び協働意識の向上が実現 □若手教員（特に初任者）の授業力向上	B A	・担任の授業スタイルの継承を継続してほしい。	3名
	教育課程	○学力・体力の向上 □新学習指導要領への移行準備	○学力・体力の向上（特に国語） □外国語活動・外国語科の授業計画作成と実践	B A	・体力向上に向け年間通し取り組む運動を企画してほしい。	
	開かれた学校づくり	○保護者・地域への情報発信と情報共有 □地域の中学校との連携活動の充実	○学校HPのリニューアル実現と閲覧数の増加 □学校運営協議会での連携強化と町会寺子屋の発足	A A	・学校HPに教職員のルールを作成、定期的な更新を望む。 ・学校施設の工事状況も掲載してほしい。	
	教職員の資質向上	○教職員の資質能力の向上 □教職員の負担軽減と元気な教職員集団の維持	○ベテラン教師による若手教師の資質向上の実現 □定時退勤推奨で教職員集団の心身のリフレッシュ実現	B A	・「リフレッシュデー」等の取組継続を望む。	
	施設・設備等の管理	○清掃活動の充実 □学校事故0の実現	○黙働による清掃活動の徹底の実現 □倫理確立委員会の充実による学校事故0の実現	A A	・学校修繕に「おやじの会」の活用を望む。	
芝南小	組織運営	○教職員の学校運営参画意識の高揚による教職員相互の人間関係の向上・発展とたくましい学校組織の確立。	○各校務分掌の取組、メンター制度の充実等により、ボトムアップ型の安定した学校組織を確立することができた。	A	・特に課題は感じていない。 ・学校の運営体制はとても安定している。	3名
	教育課程	○授業の質的改善や基礎学力の定着により、学力の確実な向上に努める。	○学力向上プランや学力向上アクションプランの作成・実施により、教職員の学力向上に関する取組意識の啓発・高揚を図った。	B	・児童の学習態度がしっかりしている。 ・学校課題である体力向上の解消に努めてもらいたい。 ・丁寧で分かりやすい授業が行われている。	
	開かれた学校づくり	○学校からの情報発信を密に行い、家庭・地域が応援したくなる学校を実現する。	○学校ホームページの充実や、「よくわかる芝南小」の作成により、学校の取組を着実に広報することができた。	B	・学校のホームページが充実している。 ・学校だよりをもっと広範に配布するとよい。	
	教職員の資質向上	○校内研修の充実・活性化に努め、指導力と教育公務員としての適切な倫理観を育成する。	○校内研修の授業研究会や、倫理確立委員会の開催方法について工夫・改善を図り、教職員の資質・能力向上に努めた。	A	・一生懸命に取り組んでいる。 ・校内研修で指導力向上を図っている。	
	施設・設備等の管理	○安心・安全な学校環境づくりに努める。	○毎月の安全点検により、危険個所の早期発見・早期改善に努めた。児童が関係する学校施設・設備事故0を達成した。	B	・修繕により、老朽化に伴う事故を防止してもらいたい。	
神根東小	組織運営	○校務分掌組織を充実させる。	○企画委員会での教育方針の徹底 主任としての自覚・リーダーシップの育成が不十分	B	・教職員数の減少に伴い、保護者・地域との結びつき強化が必要	8名
	教育課程	○確かな学力の定着と向上 □学力向上の研究推進	○授業枠1コマを増やした学力向上のための時間確保 □理論研究と3回の研究授業の実施	A B	・引き続いての学力向上・体力向上の取組の充実	
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会の計画的開催と機能化 □学校公開・授業参観の充実	○計画的な5回の開催実施 □土曜学校公開、授業参観・懇談会の回数増 校内音楽会の実施	A A	・出席しやすい開催時刻のために要検討 ・より開かれた学校づくりの実現 学校図書館等の活用の公開も	
	教職員の資質向上	○教職員の指導力向上 □服務の厳正と教職員事故防止	○委嘱研究に合わせた研修の実施 □積極的な情報提供等で事故防止の実施	B A	・益々の努力と向上 ・教職員事故0の継続	
	施設・設備等の管理	○きれいな学習環境づくり □学校事故防止	○統一した指導までが不徹底 □学校事故0	B A	・指導の徹底を ・学校事故0の継続	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
朝日東小	組織運営	○教職員一人一人が校長の学校経営の方針を教育活動の指針とし、協働することでよりよい学校教育の実現を目指す。	○校長の経営重点となるキーワードを全教職員が自己評価シートや諸行事のねらいに盛り込んだ。「地域連携グランドデザイン」の作成もできた。	B	・学校経営方針もグランドデザインも見やすく、わかりやすい。特に「町のグランドデザイン」（地域連携グランドデザイン）は学校が取り組もうとしていることがよくわかる。	4名
	教育課程	○児童一人一人に確かな力をつける授業づくりを追究する。	○体力テストは事前の指導と家庭での支援を啓発したことで向上した。 □市教委委嘱研究は次年度本発表となるが、県学調等の対策にも取り組み始めた。	B	・学力向上は重要な課題であり、学校には真摯に取り組んでほしいが、それ以上に児童が元気に楽しく生活できる学校の風土を維持してほしい。	
	開かれた学校づくり	○「町の学校」づくりを推進し、学校・家庭・地域の絆を深める。	○地域連携グランドデザインを作成したことで、学校と地域のつながりを可視化することができた。学校だよりは地域からも楽しみにしているとの声をたくさん頂いている。	A	・学校だよりは本当に楽しみだ。家族で読んでいるし、町内会でも評判だ。これからも読んでみたい学校だよりを。	
	教職員の資質向上	○教育の根幹の改革となる新学習指導要領実施に向け、教員一人一人がキャリア相当の授業力を身に付ける。	○全教師の授業を参観し、それに対するコメントをA4のレポート5枚程度にまとめフィードバックした。研修は全ての予定を滞りなく消化した。	B	・次年度の発表に期待する。校長が率先して丁寧な指導をしていることがわかったので継続してほしい。	
	施設・設備等の管理	○安全は全てに優先する。安全点検の充実と計画的な予算の執行を行う。	○ブロック塀、天井、屋上改修と安全最優先の措置を講じることができた。会計処理については、事故防止の観点から抜本的に見直すことができた。	A	・事故はいつでも起こるということを前提に対策を講じ続けてほしい。	
芝富士小	組織運営	○教職員一人一人の創意工夫が生きるボトムアップの校務分掌組織の設定と見届け	○月ごとの学校経営方針を確実に発行し、学校経営の周知につとめた。 □学年主任連絡会を月１回開催することができたが、校長の経営方針に基づく学年経営が推進されない場面もあったことは課題である。	B B	・学校としての組織化がなされ、その充実は年々図られていると思う。	5名
	教育課程	○授業時数の確保と学習内容の確実な定着 □PDCAサイクルをとおした児童の実態把握と、学習内容の確実な定着を図る指導法の工夫改善 △日本語、日本文化を理解できていない外国人児童全員に小学1年生程度の学力を身に付けさせる指導の工夫、改善	○授業時数は確保できたが、質的管理に課題が残った。（特に学力向上に関して） □「芝富士小授業スタイル」に基づく模擬授業、モデル授業を実施したが、定着が図り切れなかった。 △「家庭学習の手引き（中国語版）を作成、保護者の理解が得られた。	B B A	・学校訪問では、児童がよく集中して学習に望んでいる様子が見られた。 ・授業に工夫があり（特にタブレット端末の活用等ICTの活用）、教職員の努力が感じられる。委嘱研究発表会では、多くの先生方が来校している中、よい授業が行われ、発表会も素晴らしい発表だったと感じた。来年度も学力向上に向けて努力してほしい。	
	開かれた学校づくり	○学校便り、学年便りの定期発行に加え、週予定を記載した学級通信の発行 □HPの週3回以上の更新 △マスコミを活用した情報発信（月１回は要請） ◇日常の学習活動につながる学校応援団の活動の充実	○全学級が毎週１回の学級通信を発行した。 □HPはタイムリーな更新を行った。（毎日更新） △月１回以上はマスコミを活用した情報発信を実施した。 ◇学校応援団（教育支援ボランティア）延べ2,600名以上の協力を得られた。	A A A A	・ホームページの定期更新やテレビ、新聞等の報道は大変ありがたい。 ・中国籍児童がますます増えていく中、保護者の対応に苦慮しているようであるが、是非、市当局の協力を得たり、PTA組織にある中国人サポーターの活用を検討するなどの努力をしてほしい。	
	教職員の資質向上	○学校課題研究を生かした指導力の育成 □校務分掌組織を生かしたミドルリーダーの育成	○委嘱研究発表会では、研究の成果と課題を得ることができ、教職員の資質向上につながった。 □学級経営に関する資料を年間22回発行し、時季に応じた学級経営の基本を指導伝達することができた。 △ミドルリーダー研修では期待される成果が得られなかった。	A B	・いつも思うが、先生方には教員としての心構え等の資質を身につけてもらいたいと思う。 ・忙しいとは思うが、教員としての力量を更にあげて欲しいと感じる。ますますの教員の育成に力を注いでほしい。	
	施設・設備等の管理	○安心・安全な学校を目指した施設・設備の管理 □豊かな心を育む校内環境の推進	○安全点検の実施と毎日の管理職の校内巡回により、要修理箇所の速やかな対応が図れた。 南校舎解体工事に係る市教委と教職員への周知等によりトラブルゼロであった。 □「一人一額」の図工作品展示は計画的にできた。	A A	・南校舎解体工事については、事故ゼロに終えられてよかったと思う。引き続き工事が続くようであるが、地域住民としては早く工事内容やその日程について示してほしい。放課後児童クラブの部屋の確保についても市当局への働きかけをお願いしたい。学校としては、今後も川口市教育委員会と密に連携をとって安心・安全・清潔な学校環境づくりに努力してほしい。	
前川東小	組織運営	○組織の活性化による教職員の学校経営参画意識の高揚 □PDCAサイクルの確立による組織機能の充実	○運営委員会の充実により、若手や中堅が学校運営に大きく貢献し、「目指す学校像を生かした実践」97%達成 □分掌・行事等の反省・記録・改善や管理職への報告・連絡・相談は概ね徹底でき、「部会の組織・運営」は89%達成	A A	・若手が多く、活気がある。 ・それぞれの意見を尊重しながらチームとしてよい運営を望む。	5名
	教育課程	○授業改善による教育活動の一層の充実 □基礎基本の確実な定着	○健康教育の特色を維持しつつ、校内研修の活用による授業改善が推進 □少人数指導やコバトン問題集の活用により基礎基本の徹底は概ね達成	A B	・良い方向に進んでいる。 ・中学生になっても九九の四の段、七の段ができない生徒も少なくない。算数の初歩のつまずきが一因と思う。	
	開かれた学校づくり	○児童の愛校心や地域を大切に思う気持ちの育成 □保護者・地域連携の強化	○開校50周年事業を通して、愛校心を育成 □本校の教育の様子をHPで120回以上更新掲載	A A	・地域を思う気持ちを強く持てるよう指導してほしい。 ・コーディネーターの努力もあり、地域のコミュニケーションは充分。	
	教職員の資質向上	○校内研修の一層の充実等による意欲と活気のある学校づくりの推進 □ワークライフバランスを意識した働き方改革の推進	○授業研究の提案を積極的に引き受けるなどしており、「学習意欲を高める授業の工夫」93%達成 □カエル会議による意識改革を推進するも在校時間の多寡があり、二極化傾向	A B	・先輩教師は実力充分と思われ、若手の良き相談相手となっているように思う。 ・先生自身が時間的ゆとりを実感でき、体力にも余力がなければ子供と向き合えない。	
	施設・設備等の管理	○危機管理意識・事故の未然防止意識の高揚 □効率的な予算運用と定期的な予算執行状況の確認	○安全点検の確実な実施と研修・情報提供により教職員の意識を高揚 □備品の購入等、定期確認により適正に予算を運用	B A	・年何回か第三者（PTA等）の協力をお願いして点検し、安全を図ってほし ・トイレの洋式化を急ぐべき。	

別添資料１-12-

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
柳崎小	組織運営	○校長・教頭・主任を中心とした機動的な学校運営の実現 □学校教育目標の具現化に向け、各教職員が明確な目的意識を持ち、教育活動を策定・実践 △全教職員の学校経営参画意思の醸成	○企画委員会が十分機能し、トップダウンとボトムアップが有機的に連携した学校運営が実現 □学校教育目標を学年経営の中で生かせた教職員の割合91.7%、学級経営の中で生かせた割合79.2%達成 △「企画提案を実施できた」と回答した職員82%達成	A A A	・校長の学校経営方針が職員に十分浸透している ・職員の学校経営参画意識が高い	5名
	教育課程	○3つの達成目標の検証テストで「読む」「書く」の正答率について現状の高水準を維持 □授業時数確保による教育指導計画の完全実施 △交流教育により児童の豊かな心を育成 ◇不登校生徒の減少	○検証テスト実施し、「読む」「書く」について県の目標である正答率95%越え □予定授業時数の確保と指導計画の改善 △特別支援学級児童の通常学級の授業参加に柔軟対応 ◇家庭や健やか相談員等との連携により、不登校生徒減少	B B A B	・「勉強がわからない」「学習内容がわからない」という生徒への手当の充実を望む	
	開かれた学校づくり	○学校情報の発信強化 □学校応援団の立ち上げ	○学校ホームページ毎日更新、学校だより60号発行 □準備委員会の設置、年間活動計画の立案	A B		
	教職員の資質向上	○校内研修の課題を精選し、実践的な研修を実施 △	○道徳など校内研修の実施により、実践的指導力の向上 △	B	・教職員研修の充実は称賛に値する	
	施設・設備等の管理	○計画的・日常的な安全点検の実施と即時対応 □廊下を心和む空間に工夫	○毎月の安全点検と管理職による日常点検による即時修繕 □児童の作品掲示・季節の花設置により心の和む空間づくり	B B	・施設設備の改修について市教委と十分連絡調整すべき	
芝樋ノ爪小	組織運営	○組織的な学校運営の実現	○報連相の徹底と協力・協働意識の高揚 ○原案を活かした助言による会議の効率的運営 ○学校行事等の円滑な実施	A	・教職員の協力体制がとれている。 ・学校運営が上手くいっている。 ・ベテラン教職員の率先垂範で若手教員の育成を。	5名
	教育課程	○学習規律の定着と学力の向上	○学習規律の定着 ○国算ぐんぐん教室等による基礎学力の定着 ○支援員等の配置変更による発達障害や外国籍児童等の的確な対応	A	・国算ぐんんぐん教室は学力向上に効果があると思う。 ・わかりやすい指導による学力向上の成果を期待する。 ・支援員・補助員・AT等の有効活用で学力向上に取り組んでいる。	
	開かれた学校づくり	○地域と連携した学校づくり	○学校応援団等の支援による効果的な学校運営 ○新聞、CATV等を通しての教育活動の発信 ○地域の行事参加による地域との信頼関係の構築	A	・学校応援団との学校行事を通しての活動が素晴らしい。 ・校長、教職員が地域の行事に参加してありがたい。 ・地域に開かれた親しみあふれる学校である。	
	教職員の資質向上	○ライフステージに応じた教職員の育成 □高い倫理観をもった教職員集団づくり	○「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践 ○計画的な教室訪問、授業参観の実施と指導助言 □当事者意識の高揚と教職員事故ゼロの継続	B A	・保護者から信頼されている先生がいる。引き続き丁寧な指導をしてほしい。 ・委嘱研究で教職員の気持ちが一つになったように見える。 ・高い倫理観をもち教職員事故ゼロを期待する。	
	施設・設備等の管理	○きれいな学校、安全・安心な学校づくり □授業の充実に重点を置いた予算編成・運用	○安全点検による迅速な対応・修繕の実施 □予算の執行状況を定期的に確認し、効果的な予算執行を実施	A A	・校舎が老朽化しているが、校内がきれいに保たれている。 ・日頃から事故防止に努めている。引き続きよろしくお願いします。 ・掲示物等はいつも感心させられる。	
新郷南小	組織運営	○機能的な学校運営組織の確立 □いじめ防止	○各教科部会に明確な目標と実施、評価による組織の活性化が図られた。 □いじめに対する迅速な対応と未然防止	B	・いじめの予防と対応は最重要課題である。今後も、組織として迅速な対応を図って欲しい。	5名
	教育課程	○基礎学力の定着度80%および質の高い教育活動	○スキルアップタイム・パワーアップタイム・夏のサマースクール授業　週案の指導と一日１回以上の教室訪問	B	・子どもたちが興味いだく生き生きとした授業を展開していただきたい。	
	開かれた学校づくり	○地域の教育資源の活用 □保護者と子どもがともに学ぶ学習会	○地域新聞による学校教育活動の広報 □日曜教室や夜の星空教室の展開	A A	・地域の教育資源を今後も活用していただきたい。 ・教師の働き改革が問題になる。負担とならない工夫をしていただきたい。	
	教職員の資質向上	○若手教員の指導力向上	○OJTによるベテラン教師の指導技術の伝授	B	・今後、教師には、保護者対応の研修会が必要ではないか。	
	施設・設備等の管理	○廊下の整備と掲示物による学び □安全安心な学校づくり	○各廊下の壁面をきれいに塗装　掲示物の作成 □きれいな教室　整備された教室	A B	・今後もきれいな学校を目指して欲しい。 ・地域での防犯対策として青パトの巡回をしている。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
上青木南小	組織運営	○校務分掌組織の活性化 □協働体制の確立 △職務の属人化の解消	○適材、適所の配置により有機的に機能した □必携やスタンダードの活用により協働体制が図れた △ファイリングシステムが定着した	A A A	・協力して、学校祖組織が十分に機能している。 ・おだやかで安定した教育活動が展開されている。	7名
	教育課程	○日課表の工夫改善 □個に応じた指導の充実 △「わかる授業」の実践	○体力・学力とも目標を上回る結果となった □特別に配慮が必要な児童に対する指導法を研修し、効果が上がった。 △ユニバーサルデザインに配慮した授業展開された	A A A	・学習意欲の高い児童が育っている。	
	開かれた学校づくり	○地域との連携 □積極的な情報公開に努める △地域の教育力の学校教育への活用	○メール配信を活用し、計画的に公開を実施した □HPに児童の活動を随時公開した △学校応援団など地域の教育力を授業に活用した	A A A	・行事など、盛況である。	
	教職員の資質向上	○教師力の向上 □校内研修の充実	○自己評価シートを活用し、授業研究を行った □校外の指導者を招いて、研修を深めることができた	B A	・先生方が熱心で、一生懸命である。	
	施設・設備等の管理	○全職員による点検 □教育環境の整備	○月１回の定時点検など計画的に修繕を行った □図書室の整備、蔵書のデータ化を行った	A A	・教室や廊下が良く整理されていてきれいである。 ・図書室の整備が進んだ。	
根岸小	組織運営	○明確な目標設定と組織的な教育活動の推進 □諸会議のスリム化、創造的かつ円滑な運営 △各主任の学校運営参画意識の高揚	○組織的な教育活動の推進がおおむね実現できた。 □校長・教頭・主幹教諭が一体となり、円滑に学校運営できた。 △各学年主任・分掌主任の経営参画意識が高揚した。	A A B	○行事や取組に工夫・改善が見られた。 □校長のリーダーシップの下、教職員の一体感がある。 △どの教員も熱心に教育活動を行っている。	４ 名
	教育課程	○学力、徳力、体力向上プランに基づく教育の充実 □目標、指導、評価の一貫性のある授業の工夫・改善 △学習指導要領に基づく教育課程の工夫・改善	○プランの工夫改善を図り、体力が向上した。 □実践的研究を進めたが、学力は横ばい状態である。 △開かれた教育課程の創造を目指し各プランを見直し、改善を図った。	B B B	○体力の向上を図られたことはよい。 □どの教室も熱心な授業が展開されている。 △管理職のリーダーシップにより進めていってほしい。	
	開かれた学校づくり	○保護者・地域との連携の強化・拡充 □学校のよさ、取組の重点・現状の積極的発信	○学校評価における連携に関する項目の数値が向上した。 □積極的発信により、保護者・地域の理解が高まった。	A A	○地域の人材を多く活用したことは評価できる。今後も続けてほしい。 □より連携を強化する方策を行っていってほしい。	
	教職員の資質向上	○学び合い、認め合い、高め合える職場環境づくり □学級経営力、生徒指導力の向上	○風通しのよい職場環境づくりに努め、事故0を維持できた。 □学習規律の確保ができ、落ち着いた教育環境づくりができた。。	B B	○事故がないことはよい。今後も維持してほしい。 □掲示物にも工夫がみられ、落ち着いた中で授業が行われていた。	
	施設・設備等の管理	○設備・備品等の有効活用と管理 □事故防止に向けた取組の強化	○安全で活気と潤いのある教育環境づくりができた。 □教職員の倫理観が高まり、事故0を維持できた。	B A	○複数の目で安全点検し、今度もより安心・安全な学校づくりを行ってほしい。 □学校内外でのあいさつが課題である。	
芝中央小	組織運営	○学校運営に対する貢献度の向上 □学校運営に対する参画意識の高揚	○学校力（学校の教育力）を高めることが出来た。 □学校運営に対する参画意識を高めることが出来た。	B	・主任の先生方に意識を高く持ってもらい、若手教職員を育てていただきたい。	3名
	教育課程	○学校教育目標の具現化を図る取組を意図的に設定 △児童が主体的に取り組む活動の展開	○年間指導計画に基づいた教育活動は展開出来たが、 健康教育への取組は不十分である。 △行事では、児童が活躍する場を作り出せた。	B	・家庭との連携はとても大切であるので、非常に良い取組である。	
	開かれた学校づくり	○学校が持つ情報の積極的な発信 □保護者や地域と連携した取組の推進	○学校が持つ情報は積極的に発信出来た。 □保護者や地域と連携した取組は順調に行えた。	A	・校長の方針が非常に分かりやすい。	
	教職員の資質向上	○計画的な校内研修の実施 □教師力の向上	○学級活動と道徳教育の研修を学級経営に生かせた。 □授業研究会を通して授業力の向上につなげることが出来た。	B	・基本的な生活習慣、人間関係、コミュニケーションをしっかり図ることは大切である。 ・良い取組であるので、これからも続けて欲しい。	
	施設・設備等の管理	○緊急度の高い物を優先した配当予算の使用による施設・設備の充実	○緊急度の高い物から修理・修繕を行い、施設・設備の維持管理を行えた。	A	・防犯カメラを設置することは、安全面からも良いことである。	

別添資料１-14-

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
新郷東小	組織運営	○よりよい教育活動の推進 □各校務分掌における組織的な取り組みの推進 △PDCAサイクルにて絶えず改善を図りながら職員の学校運営への参画	○各職員の学校運営への参画意識と組織力が向上 □定期的な部会の開催にて、共通認識・共通行動の推進 △各行事毎に評価、反省を行い、その結果をもとに次年度の計画を作成	A B B	・学校運営方針がほぼ浸透し、教職員の意識の向上が図られている。 ・一人一人が積極的に学校運営に参画し、組織力の高まりを感じる。 ・教員が存分に力を発揮できる効率的な学校運営に期待。	6名
	教育課程	○川口市教育委員委嘱「学校図書館教育」の推進とどの子にもわかる楽しい授業を展開する。 △道徳の教科化、外国語活動の時間増への適切な対応。	○どの教科においても学校図書館や図書資料を活用した授業が実現 ○「読書いろいろチャレンジ15000冊」の目標に対し1月末で24441冊を達成 △今年度より「道徳」が教科化され、通知表に新たな評価を追加。外国語活動の研修の充実と指導力の向上	A A A	・本から全教科へつながり学習意欲が高まってきたこと、これからの学力向上に期待できる。 ・読書いろいろチャレンジにおいて本年度も目標以上を達成され読書力の向上ができたこと評価できる。 ・更なるきめ細やかな教育指導がなされることを期待したい。	
	開かれた学校づくり	○地域・家庭への積極的な働きかけと新たな協力者の依頼 △教育活動の積極的な発信と開かれた学校づくりの実現	○夏季休業中の本の貸し出しボランティアや環境整備ボランティアの協力 △作家「今西乃子」氏の講演会の実施と学校の特色を発信	A A	・夏季休業中の図書館開放は良かった。家での読書習慣にもつながる。 ・保護者や地域に門戸を開いた「今西乃子氏講演会」は心に残る企画であり、「地域の学校」として素晴らしい取り組みであった。また学校HPは特に充実している。	
	教職員の資質向上	○わかる・楽しい授業が展開できる教員の育成 □研究主題に沿った質の高い校内研修の実施と研究を推進する教員の育成	○学校評価アンケート児童の94.7%が「授業は楽しい」、95．5%が「授業がわかる」、「意見に対して、自分なりの考えを持つ」91.6%となり90%を超え □学校図書館を活用した授業研究会を全学年で行い全職員で研究と修養に努めることができ授業力の向上が図られた。	A A	・「授業が楽しくよくわかる」と答えた児童が90%超えは驚きを感じた。工夫を取り入れた授業、丁寧な対応・姿勢の成果ではないかと思う。 児童が楽しく学べれば、勉強も好きになることから、今後も「わかる・楽しい」授業を推進してほしい。	
	施設・設備等の管理	○実効性のある安全点検の実施と迅速な改善 □学校図書館の教育環境を整備と教育効果の向上	○毎月の安全点検と管理職による日常点検による即時修繕 □学校応援団、PTA（保護者）の協力を頂き「みんなでつくりあげる学校図書館」に着手	A A	・学校が年々きれいになっている。設備・整理整頓もなされている。 ・学校図書館の読書環境がどんどん良くなっており、「みんなでつくりあげる学校図書館」と更なる蔵書の充実に期待する。 ・PTAとの連携の充実を。	
朝日西小	組織運営	○「笑顔 やる気 元気」の3観点について共通指導を徹底	○具体的重点項目の笑顔、元気については、指導の成果として児童が変容	A	・校内では、積極的に元気な挨拶ができている。 ・授業、行事では、落ち着いて話を聞くことができている。 ・教職員の気配り、目配りがしっかりできている。	4名
	教育課程	○児童の発達段階を考慮した教育課程の編成・実施	○教育課程の実施、評価後に改善策を検討	A	・発言の声が小さい児童がいる。はっきり伝えることの重要性を理解させ、身につけさせてほしい。	
	開かれた学校づくり	○学校の教育活動を積極的に発信し、家庭・地域と連携した取組	○近隣住民、幼稚園・保育園の保護者の関心拡大 地域の催しでの交流	A	・学校公開、学校だより、掲示物、作品展示等、地域への情報発信、開かれた学校づくりは十分行われている。 ・地域の催しへの参加で密接な関わりが果たせている。	
	教職員の資質向上	○全教職員が自信をもって教育活動に参画し、学校づくりを推進	○長所を生かす校務分掌。適所での活躍	B	・児童の話をしっかり聞いてあげ、悩みや問題を解決・改善してあげられる先生を育ててほしい。 ・「学校が楽しい」「先生が好き」という児童が増えてほしい。	
	施設・設備等の管理	○安全管理の徹底による事故0の実現	○周知・徹底し、事故0を実現	A	・清掃、整頓が行き届いていて、校舎内がきれいである。 ・老朽化により大規模な修繕が必要な時期ではあるが、児童の安全確保をしっかり行ってほしい。	
慈林小	組織運営	○全教職員による組織的、計画的な教育活動を推進	○目指す学校像を一本化したことで、広く浸透させることができた。	B	・校長のビジョンをより明確に掲げ進めてほしい。	4名
	教育課程	○「慈林小学校の基礎・基本を全児童にしっかりと身に付けさせる。	○新学習指導要領への移行期間を意識して取り組むことができた。	B	・知・徳・体のバランスのとれた教育活動を推進してほしい。	
	開かれた学校づくり	○学校・家庭・地域が連携し合った教育活動を推進	○ホームページのリニューアル等、開かれた学校作りが進められた。	A	・学校公開等、児童の様子がよくわかってよかった。	
	教職員の資質向上	○日々の授業の工夫改善・授業研究、教職員の研修を積極的に推進	○教員が日々の授業で困っていることを吸い上げ、研修に取り入れられたことはよかった。	B	・教職員も働き方改革が言われているが、若い先生方の指導力の向上も大切。	
	施設・設備等の管理	○施設・設備の点検と修繕に努め、安全管理を推進	○老朽化に伴う施設設備の安全に十分に配慮し、修繕等を進めることがで	B	・安全で安心した教育環境を整えてほしい。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
差間小	組織運営	○校務分掌体制と会議の運営方法を改善 □校務の合理化、会議のスリム化、事務業務の効率化、校務の効率化	○分掌の責任の明確化、会議の運営方法の改善により効率化が実現 □負担軽減16項目の実施により負担減、効率化が進行	B B	・1分掌1人体制は良いと思う。 ・学校だけの努力では難しいところもあるだろう。	13名
	教育課程	○学力向上プランに基づいた実践 □計画的・継続的に基礎体力作りの推進 △学校応援団等を活用した体験活動の充実	○全国・県ともに順位的が伸び、授業改善が進行 □新体力テストの結果が大幅に向上 △学校応援団等の協力により活動が充実	B A A	・校内研修の成果が出ているように感じる。 ・新体力テストの伸びは素晴らしい。 ・スローライフの取組が素晴らしい。	
	開かれた学校づくり	○学校行事への参観や地域行事への参加をする。 □学校応援団や地域人材を生かした学習活動や体験活動を実践 △情報発信と行事や学校評価等で意見聴取	○三世代による交流が充実 □関係団体等の協力により活動が充実 △ホームページの更新が不定期	B A B	・三世代交流は素晴らしい。 ・高校生の支援による体力向上の取り組みは良い。 ・学校のHP専門の支援者を募集してみてはどうか。	
	教職員の資質向上	○中堅教員や若手育成のためのステップアップ研修会を実施 □教師としての専門性や倫理意識を高める研修会の実施 △働き方改革を推進し、心身のリフレッシュを図る	○ステップアップ研修が充実し意欲が向上 □倫理に関する研修は回数増により意識が高揚 △業務内容が減らないため停滞	B B B	・若手の先生の活躍を期待する。 ・若手教員には1つ教科を絞り継続して研修させてはどうか。 ・教員の仕事量から考えると学校だけでは難しいだろう。	
	施設・設備等の管理	○危険箇所や不備の早期発見と迅速な対処を実施 □児童の専門員会やおやじの会などの協力により美化緑化活動を推進	○老朽化が進む中、早期発見対応を実施 □季節に応じた緑化推進が順調	A B	・災害時の避難場所として子供にも意識付けをして欲しい。 ・いつ来校してもに緑化環境が整っていて素晴らしい。	
東本郷小	組織運営	○若手の育成と組織の活性化	○部会を再構成し、話し合いの時間を確保することにより、実効性のある取組ができた。	B	・中学校区の職員との情報交換、授業公開は有意義である。	5名
	教育課程	○基礎的・基本的な学習内容及び思考力を高め、学力向上を実現 □明るく元気で心豊かな児童の育成	○算数科における少人数指導の実施により少しずつ基礎的・基本的な学習内容の定着につながった。 □気持ちのよい挨拶と返事のできる児童80%以上	B A	・アクティブラーニングを着実に進めてほしい。	
	開かれた学校づくり	○学校・家庭・地域の連携の強化	○周年行事に向けた実行委員会を発足。近隣の幼・保との連携・交流も継続できた。	B	・幼児との交流のみならず職員間の交流も有意義である。	
	教職員の資質向上	○教職員が自己の力を発揮できる学校づくり □教育公務員としての識見を高めるとともに教職員の和の確立	○ショート研修を設け共通理解を図るとともに日常的な教室訪問の実施 □倫理確立委員会や職集での研修及び情報提供	B A	・退勤時刻の問題は改善が必要である。 ・外部講師の活用は効果的である。	
	施設・設備等の管理	○安心・安全で潤いのある教育環境の整備	○必要個所の修繕の実施と掲示物や花壇の整備による校内美化の重視	A	・小さな修繕やものづくり、花壇づくりは学校応援団の活動も効果的である。	
東領家小	組織運営	○校長・教頭・主任を中心とした機動的な学校運営の実現 □学校教育目標の具現化に向け、各教職員が明確な目的意識を持ち、教育活動の策定・実践 △全教職員の学校経営参画意思の醸成	○企画委員会が十分機能し、トップダウンとボトムアップが有機的に連携した学校運営が実現 □学校教育目標を学年経営の中で生かせた教職員の割合91.7%、学級経営の中で生かせた割合79.2%達成 △「企画提案を実施できた」と回答した職員82%達成	A A A	・校長の学校経営方針が職員に十分浸透している ・職員の学校経営参画意識が高い	5名
	教育課程	○3つの達成目標の検証テストで「読む」「書く」の正答率について現状の高水準を維持 □授業時数確保による教育指導計画の完全実施 △交流教育により児童の豊かな心を育成 ◇不登校生徒の減少	○検証テスト実施し、「読む」「書く」について県の目標である正答率95%越え □予定授業時数の確保と指導計画の改善 △特別支援学級児童の通常学級の授業参加に柔軟対応 ◇家庭や健やか相談員等との連携により、不登校生徒減少	B B A B	・「勉強がわからない」「学習内容がわからない」という生徒への手当の充実を望む	
	開かれた学校づくり	○学校情報の発信強化 □学校応援団の立ち上げ	○学校ホームページ毎日更新、学校だより60号発行 □準備委員会の設置、年間活動計画の立案	A B		
	教職員の資質向上	○校内研修の課題を精選し、実践的な研修を実施 □ △	○道徳など校内研修の実施により、実践的指導力の向上	B	・教職員研修の充実は称賛に値する	
	施設・設備等の管理	○計画的・日常的な安全点検の実施と即時対応 □廊下を心和む空間に工夫	○毎月の安全点検と管理職による日常点検による即時修繕 □児童の作品掲示・季節の花設置により心の和む空間づくり	B B	・施設設備の改修について市教委と十分連絡調整すべき	

別添資料１－16－

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
安行東小	組織運営	○校長、教頭、主幹、各主任のライン確立 □ボトムアップ型の組織体制の構築	○各種組織の定例会を計画的に開催。 各自が課題を踏まえ改善案の提案。	A A	・地域・保護者の要望等にPDCAを確立し対応ができている。	8名
	教育課程	○地域の特色を生かした教育課程実施 □学習規律の確立・授業力向上・家庭学習定着化	○年間指導計画通りに実施。新規計画がない。 □全員が一授業公開。学校全体での共通の取り組み課題	B B	・わかりやすい授業展開だが進んで学習に取り組むが課題。	
	開かれた学校づくり	○信頼される学校づくりの推進 □幼・小・中の連携の充実	○ホームページ改善により情報発信のタイムリー化実現 □計画通り実施	A A	・教職員はPTA活動に積極的に参加している。	
	教職員の資質向上	○働き甲斐のある職場環境整備 □使命感・指導力の向上	○残業時間月45時間以内半数が達成 □倫理確立委員会の7回実施	B A	・授業改善をして分かりやす授業の努力は感じる。	
	施設・設備等の管理	○計画的な予算執行 □危機管理意識の向上	○計画的な予算執行をすることができた □定期・臨時点検の実施による迅速な修繕	A A	・児童の安全管理に取り組んでいる。	
在家小	組織運営	○「教育計画ファイル」によるPDCAシステムの確実な実施 □プラスワンの視点での分掌運営	○確実なPDCAシステムの実施 □分掌主任を中心とした明確な指示での効率的な組織運営の推進	A A	・PDCAサイクルは、積み重ねであるので、4半期及び半期に一度くらい軽度の見直しが必要。 ・大変よくできている。	5名
	教育課程	○個別指導を通した児童の躓きの把握、家庭学習の奨励により基礎基本の確実な定着と学力向上 □学習効果を高める授業時数の確保と指導計画の完全実施・改善	○県学調では学力の伸びを基にした、引き続きの学力向上策の強化 □さらに学習効果を高める授業内容や発問の精選	B B	・学力向上には引き続き取り組んで欲しい。 ・児童の多様性にしっかりと対応しており、今後は増員をしないと、教員の負担の増加が見込まれる。	
	開かれた学校づくり	○HPを使って、学校の教育活動の様子を保護者・地域へ随時、情報発信 □学校応援団とのさらなる連携強化	○効果的なHPにすべく刷新 □今年度の実績を活かしたさらなる強化と、教育効果の向上	B A	・教職員の負担にならないように。外部の協力者を応募するとよい。 ・多忙な業務の中で地域とうまく連携が取れてる。	
	教職員の資質向上	○授業力の向上 □若手育成のための講話や研修 △コミュニケーションをとり風通しのよい職場づくり	○新しく教科になる道徳・外国語の研修により、授業スタイルの確立と教員の授業力向上 □月１回実施により、ベテランの指導技術の引継ぎの推進 △コミュニケーションをとり、互いの仕事を補完し合い、課題を共有し取り組み、事故0	A B A	・今後も続けて取り組んでください。ここが向上すると、学力も向上するはず。 ・若手教員が多い中、頑張っている。若手をもっと伸ばすためにも、指導力の高い教員をもう少し配置してもらいたい。	
	施設・設備等の管理	○安全点検の確実な実施と見届け、修繕必要カ所の迅速な修繕 □系統的な安全教育の推進（年5回の避難訓練・体験防犯教室・自転車免許教室・情報モラル教育）	○開校38年目となり、臨時に修繕することが多かった。迅速に対応したが、予定していた修繕ができなくなった。 □計画通りに実施し、児童の安全に対する意識も向上	B A	・非常に老朽化が進んでいる中、創意工夫でうまく対処しているが、根本的な大きな修繕に対しては予算を配分してもらいたい。	
戸塚東小	組織運営	○組織の活性化を図る。 □日常的な運営改善を行う。	○各主任層を中心とした組織の活性化が図れた。 □業務改善を行い、効率化が図れた。	B B	・満足のいく学校運営である。 ・教育活動に関する説明があると、より理解できる。 ・居場所のある学校であってほしい。	4名
	教育課程	○1時間1時間の授業改善を行う。 □委嘱研究を活用した研修を充実させる。	○指導者を招聘しての研修を複数回実施できた。 □授業研究が活性化し、職員の意識が高まった。	B A	・先生方の活気ある授業がとても良い。 ・体力面でも、工夫された行事がある。	
	開かれた学校づくり	○意図的・計画的な発信を行う。	○意図的な発信ができたが、HPの活用数が少なかった。	B	・情報発信も重要だが、教育活動とのバランスが必要。 ・「学校だより」が楽しみである。 ・HPもぜひ宣伝をしていくとよい。	
	教職員の資質向上	○人事評価制度を活用した育成を図る。 □在校管理を徹底し、負担軽減を意識付けした。 △事故防止を徹底する。	○分掌を活性化させたことで、主任層が活躍した。 □在校管理を徹底できたが、意識改革が進まなかった。 △ボトムアップ型研修を取り入れることができた。	A A A	・先生方の一生懸命な取り組みに感動した。 ・過重労働は見過ごせないが、英知により効率化したい。	
	施設・設備等の管理	○点検と即時対応により事故防止を図る。 □文書の適正管理と廃棄を行う。	○危険個所の見極めと即時対応を徹底できた。 □経年の適正でない文書についてすべて適正化した。	B A	・環境に気遣っていてとても良い。 ・定期的な点検を継続してほしい。 ・地域や専門家の点検も導入できると良い。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）　自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
戸塚北小	組織運営	○目指す学校像実現のための組織的取組 □校務分掌組織の活性化	○教頭、主幹、各種主任の系統が機能した。 □中堅教員による若手教員への指導・助言が適切に実施され、世代交代が一歩進んだ。	B A		5名
	教育課程	○学力・体力の更なる向上を目指した取組 □生活・社会科の授業研究会の充実	○平均は超えているが、項目別では課題が残った。 □授業に改善は見られるが、更なる向上を目指す。	B A	・手立てを明確にして弱点を克服してほしい。 ・学ぶことに自信をもっている子供が育ている。	
	開かれた学校づくり	○学校応援団の充実と組織化 □学校の教育活動の積極的な発信	○学習ボランティアが増加し、組織化が図れた。 □学校ホームページが充実し、閲覧回数も前年比を超えた。	A A		
	教職員の資質向上	○個々の教員の指導力、授業実践力の向上	○個々の教員の授業の質も高まり、指導力も向上した。	B	・教師を育てることが、子供を育てることへつながってる。	
	施設・設備等の管理	○施設設備の瑕疵による事故発生ゼロを目指した取組 □思考を促す掲示の工夫	○施設設備の瑕疵による事故ゼロを達成した。 □本校の環境を生かした掲示体制が確立された。	A A	・予算もかかることなので、市教委と連携して取り組んでほしい。	
木曽呂小	組織運営	○教職員の共通理解・共通行動	○共通理解・共通行動が徹底されつつある	B	・学年主任がリーダー性を発揮している	4名
	教育課程	○基礎・基本の確実な定着による学力・体力の向上	○学力保障スクラム事業を活用して向上した	A	・今後も教師の授業力向上を目指してほしい	
	開かれた学校づくり	○学校経営・教育活動の積極的な情報公開、発信	○幼小中高との連携の質的向上がみられた	A	・高校との連携は、今後も無理なく長く続けて欲しい	
	教職員の資質向上	○全教員の授業力・教師力の向上	○校内研修、スクラム事業を活用した授業改善がみられた	B	・教授型の授業にならないようにして欲しい ・初任者、若手の育成をお願いしたい	
	施設・設備等の管理	○施設設備の計画的、日常的な安全点検 □児童の情操に働きかける掲示教育	○常に安心・安全のための未然防止の徹底が図られている □校内掲示の充実が児童の作品から見られる	A B	・環境が整っている ・作品掲示の季節感、コメント等で気配りが感じられる	
戸塚綾瀬小	組織運営	○効率的な組織により児童の豊かな人間性育成 □学年主任の学校経営参画意識を高揚	○成長段階に応じた指導で学校全体 □主任を中心に組織的、早期な取組と解決	A A	・教職員がよく動く。明るく伸び伸び授業が行われている ・行事における教職員のフットワークが良い	4名
	教育課程	○全教職員が指導過程の基本の定着 □本校の課題解決の具体的取組を実行	○検証テストによる目標値90%越え □学力、体力の検証値が県・市平均値を上回る	A A	・児童が元気に授業を受けている ・教職員の指導力の高さがうかがえる	
	開かれた学校づくり	○学校情報を積極的に発信 □スポーツ・防災の拠点となる学校づくり	○学校だより毎月発行。ホームページ定期的な更新 □開設会議、利用団体調整会議の設置、年間計画立案	B	・学校施設を有効に利用させてもらっている ・毎月の学校だよりを楽しく読んでいる ・学校と見守り隊の情報共有を進める	
	教職員の資質向上	○キャリアステージに応じた指導力の向上 □児童・保護者から信頼、尊敬される教師の育成	○道徳、外国語科研究授業実施、実践力の向上 □保護者満足度96%達成	A	・教員のほめ方が上手であった。叱る場面が少ない ・実験や作業が生き生きと行われている	
	施設・設備等の管理	○適正かつ計画的な予算の有効活用 □潤いある安全な教育環境づくりの推進	○毎日の安全点検、管理職による早期修繕 □掲示スタイルの統一、樹木学校ファームの整備	A A	・体育館照明を改良していただきたい ・事故ゼロが達成できてよかった ・学校の悪い話を聞かなくなった	
戸塚南小	組織運営	○組織の活性化と学校運営への参画意識	○学年主任や分掌主任を中心とした組織力が向上し、学校運営が活性化された。	A	学校が明るく、先生方も意欲的。評価はA。	11名
	教育課程	○「主体的で対話的な深い学び」による授業改善と知徳体の調和のとれた児童の育成	○国語・算数・体育科を中心に全教科にわたって授業が改善され、高い学力が維持された。 体力テストでは84。7%と大きく体力が向上した。	A	体力が向上したことは大きな成果である。徳の取り組みもお願いしたい。 評価A	
	開かれた学校づくり	○学校を中心とした関係機関、保護者、地域との連携を深める。	○学校運営協議会を活用して地域行事への参加を拡大。児童によるポスターの啓発などが効果的であった。	B	評価はB ・地域をあげて挨拶運動に取り組んでいくことが必要である。	
	教職員の資質向上	○若手教員の資質向上	○『主体的、対話的で深い学び』のH29.30市委嘱研究によって、校内研修の深化・充実が図られ、教職員の授業力も向上した。ベテラン教員の自主的な研修。	B	評価はB ・若手教職員に指導技術や経験則を伝授しながら、今後も大きく育ててもらいたい。 ・若手からも学ぶ姿勢忘れずに、コミニケーションを活発に行って頂きたい。	
	施設・設備等の管理	○児童の安全を第一に考え施設設備の有効な活用の工夫を図る。	○児童数増加の課題に対し体育部の様々な工夫改善により体育的な行事や日々の活動が事故0で展開された。	A	評価はA ・市教委と連携して、計画的な補修を行っていく必要がある。 ・児童増加への対応として、更なる周辺施設などの活用を図ってもらいたい。	

別添資料１－18－

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
鳩ヶ谷小	組織運営	○知徳体のバランスのとれた教育活動の推進 □各分掌の活性化、校務の効率化	○社会科全国大会等を通した深い学びの実現 □日課表・週課表見直しによる各種会議の効率化	B B	・家庭・地域から信頼される教育活動が行われている ・教職員の負担軽減、校務の効率化の推進を望む	4名
	教育課程	○授業改善を通した学力の向上 □互いに学び合い、高め合う学習集団づくり	○学力学習状況調査で国語を中心に伸び率上昇 □児童相互の学び合い活動の一層の充実	B B	・児童の自己評価向上、個に応じた支援の一層の充実 ・体力向上に結びつく体育授業の一層の改善	
	開かれた学校づくり	○家庭・地域から信頼される学校づくり □地域の教育力を活かした学校づくり	○講話朝会内容を学校便りに掲載し家庭・地域に啓発 □地域素材の教材化、地域人材活用の推進	B A	・ホームページのリニューアル効果、積極的な発信 ・地域素材・地域人材を通した郷土を誇る気持ちの醸成	
	教職員の資質向上	○社会科全国大会を通した教員の指導力向上 □教職員事故ゼロの継続	○社会科全国大会を通して研究実践の全国への発信 □日報などを通した倫理意識の向上、事故ゼロの継続	B A	・児童の学びの姿を通して本校研究実践が発信された ・危機管理意識、倫理意識をもって引き続き徹底を望む	
	施設・設備等の管理	○安全点検の充実を図った施設事故防止 □教育効果を高める施設等の有効活用	○全職員輪番制の安全点検、危険箇所の計画的修繕 □学習活動の場を拡げる施設設備の有効活用	B B	・児童の安全を考えた修繕、教育環境整備の促進 ・新設された活動の場を有効活用して教育効果の向上	
中居小	組織運営	○学年を中心とした組織の活性、担任外との連携 □分掌の働きの「見える化」と継承	○学年主任を核に一丸となる学年組織が機能 □次年度を見通した計画的な引継ぎが実現	B B	・時代に合わせた指導で、教職員組織を動かしていく。 ・若手職員にも任せていくことが大事。	4名
	教育課程	○道徳、外国語への対応、教育課程の確実な実施 □読書活動、図書館活用の推進、読書量増加	○各研修の実施による共通理解が浸透。教育計画の実施 □読書量目標20000冊達成（11月時点）	A A	・情報機器、インターネットの正しい活用ができるように。	
	開かれた学校づくり	○教育活動情報の発信の工夫改善と継続 □関係機関との連携による教育相談の充実	○ホームページ更新のマニュアル化、情報発信継続 情報発信に係る保護者アンケート満足度99%達成 □中学校相談員、特別支援学校との連携、相談機械の拡充	A B	・多方面にわたり、良い保護者評価を得られている。 ・保護者の間口があってこそ。	
	教職員の資質向上	○規律と温かみある学級経営、力をつける授業実践 □信頼される教職員の育成	○参観・フィードバック、目標へ向かう学級・授業づくり □倫理確立研修、日常指導を通した意識の高揚	B A	・外部研修参加は、教職員が情報や意欲を得ることに。 ・教職員は多方面の仕事に一生懸命取り組んでいる。	
	施設・設備等の管理	○迅速かつ計画的な修繕の実施 □整理整頓、清掃、備品管理の徹底	○緊急性に応じかつ、計画にそって修繕を完了 □全教員での清掃指導、日常的な整頓、備品管理	A B	・施設維持に手作りで取り組んでいるのがよい。 ・おやじの会の力を借りてはどうか。	
辻小	組織運営	○教育目標の具現化に向けた、各主任を中心とした組織づくり	○主任のアイデアを活かしながら柔軟な対応ができる組織になり、組織としての一体感が高まった。	A	・学年、学校全体で一体感のある組織づくりが必要。	10名
	教育課程	○身につけさせる力を明確にし、発達段階に応じた教育活動の充実 □学習成果が実感できる教育活動の工夫	○学力や体力の実態把握、分析はできたが、「主体的な学び」などの課題を解決するための手立てが確立できなかった。 □目標が示され、児童が成果を実感できる授業が増えてきた。	B B	・児童が自分の考えを表現できる場をより多く設定する。 ・児童が教え合う場面が多く見られ、自ら進んで学習に取り組む姿も見られた。	
	開かれた学校づくり	○児童の成長や教育活動の見える化	○情報発信・教育活動の公開を積極的に行い、多くの保護者や地域の方々に支援をいただいた。	B	・児童は地域をよく知っている。学校とPTAの取組の成果が上がっている。	
	教職員の資質向上	○教育公務員としての自覚とやりがいを培い、互いに高めあえる学校づくりの推進	○校内研修や管理職の教室訪問により、ライフステージ応じた指導力向上が図られた。	B	・教職員に活気があり、児童、保護者、地域に伝わってきている。立場を理解し、言葉遣いも気をつけていく。	
	施設・設備等の管理	○安全点検と施設環境の整備 □複数監査体制による経理事故の皆無達成	○教職員の危険察知力が高まり、危険個所の修繕が迅速にできた。 □文書や会計等を複数の目で確認する意識は高まっているが、間違いを見逃す割合をさらに高める必要がある。	A B	・設備不良による事故はなく、児童が安全に学校生活を送っている。 ・複数の目で確認を行っていくように確実に適正に処理する。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価 年　度　目　標 重点目標	年　度　評　価 重点目標の達成状況	達成度	学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
里小	組織運営	○運営委員会をはじめとする校務分掌組織の活性化 □冊子「里小の教育」の有効活用	○学年主任・各分掌主任をはじめ、若手教員の主任層配置による組織の活 □年度初めの「里小の教育」の確認により、おおまかな年間の見通しと共通理解を実現	A B	・教職員の（異動の）回転がはやいが、6年はいてもらいたい。 ・保護者の学校への要求が多くなってきている。いろいろな人が教室に入るのはそのためもあるのではないか。	5名
	教育課程	○確かな学力の定着 □体力向上に向けた取組の深化・充実 △教育活動全体を通した道徳教育・人権教育の充実	○学力・学習状況調査の結果分析による指導への活用 □体育科研究2年目を迎え、理論研修・授業研究等推進の実現 △道徳科の評価についての研修の実施、及び特別支援教育コーディネーターを中核とする交流教育の推進	B B B	・保護者による学校評価を1%上げるのは大変なことである。 ・子どもたちが、特に校外で挨拶ができないのは、保護者が忙しくて十分にしつけをする時間がなかったり、知らない人と話さないように言って聞かせたりしていることにも要因があるのではないか。新学期、通学班長の指導をしっかり行うようにしたい。 ・スマホやSNSに関わるトラブルは大きな課題である。	
	開かれた学校づくり	○保護者・地域との連携推進 □学校応援団活動の充実とその活用	○芝生苗移植活動、みどりふれあいトライアングルフェスタの実施による学校・家庭・地域との交流の実現 ○保護者の協力を得てのHPの一新 □理科支援員・図書ボランティア・読み聞かせボランティア・書きぞめ指導者・琴指導者等による教育活動支援の実現	A B	・ホームページが見やすくなった。 ・若い先生も多く、活気があって運動会はおもしろかった。天候不良により短縮スケジュールに変更されたが、スムーズに進行され、子どもたちの精一杯頑張る姿に感動した。 ・意義のあることなので、学校応援団会議を行ったほうがよい。	
	教職員の資質向上	○体育科委嘱・指定研究の推進 □教職員倫理確立委員会等による服務の厳正	○研究推進委員長を中心とした計画的な校内研修の実現 ○他校の研究発表視察による教職員の資質向上 □各種新聞報道等の活用による教職員の事故防止推進 □実効性のある教職員倫理確立研修会の実施	B B	・大きな教職員事故がなかったのがよかった。	
	施設・設備等の管理	○落ち着いたきれいな学習環境づくり □安全教育の推進	○優先順位に従った修繕による事故防止の実現 □環境教育部を中心とした校内掲示環境の見直しの実現 △校長講話・学級指導等による児童の危険回避能力の育成	B B A	・プール脇のへいが歩道のセットバック工事等により未完成の状態で、外から丸見えである。（→市教委と連携し、外から見えないようにしてもらうことになっている。）	
桜町小	組織運営	○個々の特性を見極めながら分掌を配置した組織力の向上 □学校運営参画意識の向上	○特性を生かした人材配置ににより意欲的に取り組み、効果的な組織運営 □ミドル層の教職員が中核となり各自の役割の明確化。協働体制についての回答は90%	A A	・校内の年齢構成を考慮し、教職員の年次相応の人材育成が大切。	6名
	教育課程	○校内支援席の積極的な推進と基礎学力の定着 □ユニバーサルデザインを踏まえた授業づくりと学力向上	○特別支援学級と通常学級との定期的な交流や支援方法の研修による教育環境が整いつつある □少人数指導,家庭学習定着習慣などを実施。学習の意欲化につながる	B B	・子供たちは、挨拶ができるようになってきている。 ・学力が確実に定着している。	
	開かれた学校づくり	○外部の教育力の積極的な導入 □児童の学習状況の「見える化」	○全家庭の保護者が学校応援団として関わる □学校だよりの発行とホームページを月1回更新	B B	・保護者の学校評価から、保護者の理解が得られていると判断できる。 ・学校だよりを自治会会議に間に合うように発行できないか。	
	教職員の資質向上	○学び合える教職員集団の構築 □計画的な校内研修の実施	○年間3回の指導者招聘による研究授業の充実 □定期的な教室訪問と指導助言による教職員の指導力向上	B A	・授業参観から、教職員が児童一人一人にしっかり関わっている様子がわかる。	
	施設・設備等の管理	○計画的な修繕・整備の実施 □安心・安全な学び舎としての教育環境の推進	○破損個所等の早期発見・早期対策 □安心安全な学習環境の整備	A A	・プールの修繕・改修が必要である。 ・避難所の役割として、北校舎裏の門を使用できるようにしてはどうか。	
南鳩ケ谷小	組織運営	○校務分掌組織の効率化と経営参画意識の醸成 □目指す学校像への具現化と情報発信に努める	○職員会議、校長室だより等を通し、経営方針の共通理解を図ることができた。 □学校だより、HP等を通し、保護者、地域への情報発信。	A B	・学校の様子を見ていて、先生方が一丸となっていることを感じる。一生懸命やっていただいている。 ・HPは負担にならないように。	5名
	教育課程	○市教委委嘱の校内研修を基盤に更なる学力向上を図る。 □徳力、体力の向上を図る。	○立腰教育で学びの構えを作る。委嘱研究発表で指導力、 学力の向上を図った。 □すくすくタイムの計画的な実施による体力向上。	A A	・「腰骨を立てる」取組は良い。姿勢がよくなっている。 ・ステップアップルームの活用、低位の児童にとって有効。 ・規律面しっかりとできている。	
	開かれた学校づくり	○学校評議員会の充実、民生委員会議の開催し地域と連携した教育活動の展開。 □中学校区内の学校の連携、地域との交流。	○学校公開、学校評議員会の計画通りの実施。民生委員会議は予定通り開催できなかった。 □中学校とは計画的に連携を図ることができた。	B B	・民生委員会議を持ち、積極的な地域とのかかわりを。 ・学校応援団としても活用していってほしい。 ・中学校区三校の連携を。地域学校保健委員会の開催。	
	教職員の資質向上	○授業研究会を通しての指導力の向上、若手教員の育成と積極的な活用。 □倫理確立委員会の充実と日常指導	○外部講師を招聘し、一人一授業の実施。指導法の恭理解を図り、指導力向上を図れた。 □現実的な倫理確立委員会の実施、適時性ある情報提供。	A A	・学旅行向上のため家庭学習を呼び掛けているが、教師の評価が課題。レスポンスがない。 ・日頃から気を引き締めて取り組んでいってほしい。	
	施設・設備等の管理	○施設・設備の点検、必要に応じた修繕。市と連携した大規模修繕、再芝生化。 □潤いのある、美しい教育環境づくり	○安全を最優先に危険な遊具の撤去、スプリンクラーの設置。市との協議で校庭の芝生の完全撤去。 □計画的な掲示物の工夫。花壇整備、校舎内美化。	A B	・危険な遊具の撤去、スプリンクラーの設置など学校にとって本当に良かった。 ・鳩ケ谷地区の施設・設備の修繕校長会でも働きかけを。	

別添資料１-20-

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
東中	組織運営	○落ち着きと潤いのある学校づくり □やりがいをもって教育活動に取り組める組織づくり	○規則正しい姿勢で授業に取り組む生徒の姿が恒常化 □学年主任のリーダーシップと、学年間の情報共有による組織的教育活動	A A	・自分たちの学校は自分たちで良くしていくとうい生徒たちの姿勢が伝わってきた。 ・安定して良い環境を築いているのは、先生方の指導の賜物。	4名
	教育課程	○基礎基本の確実な定着と学力向上 □支援を要する生徒への手厚い指導の充実	○県学力学習状況調査で，学力の伸び率が県平均を超えるか県平均と同 □アシスタントティーチャーの活用により、学習に取り組む意欲が持てるようになった生徒が増加	B B	・3年生が行っている学力アップ教室は、大変有意義。 ・不登校対策は本校の最重要課題。	
	開かれた学校づくり	○学校情報の迅速かつ正確な発信 □地域の中学校として貢献できる学校の構築	○ホームページで教育活動を積極的に発信、保護者の高評価を獲得 □地域行事に積極的に参加、地域から高評価を獲得	A A	・悪質な閲覧者への対応策を。 ・生徒参加が地域活動の活性化につながっている。	
	教職員の資質向上	○教育のプロとしての専門性と指導力の向上 □保護者や地域から信頼される教職員集団の形成	○校内研修、研究授業で若手教員の指導力が向上 □生徒、保護者の学校評価で、プラス評価の数値が向上	B B	・生徒の94%が先生方の授業は分かりやすと回答している点は素晴らしい。 ・苦言や提言を書いてくれた少数の意見も大切に。	
	施設・設備等の管理	○生徒が安全・安心に活動できる教育環の境整 □整備が必要なものへの迅速な対応と事故防止	○学校施設、設備の不備が原因となる学校事故を防止 □テニスコート南側防球ネットの工事が進行中	B B	・地域としても協力したいので、積極的な相談を。 ・生徒の教育活動が制限されることはできるだけさけるべき。	
西中	組織運営	○教職員の学校運営に対する参画意識の向上 □教職員の負担軽減	○組織的な対応が図れたものの課題もあり □教職員の負担軽減は思うように進まない。	B C	・部活動の改善で教職員の負担軽減を図る必要がある。 ・負担軽減には地域の力も必要である。	5名
	教育課程	○学習指導要領の趣旨を踏まえた魅力的な授業 □学力向上プランの工夫・改善と道徳教育の充実	○魅力ある授業を目指し、学習指導が行われている。 □次年度の道徳の教科化に向けて努力が求められる。	B B	・各学年、各クラスとも落ち着いた授業が行われている。	
	開かれた学校づくり	○学校公開、HP、学校だより等による積極的な発信 □保護者、地域との連携による信頼される学校	○学校の情報が保護者、地域によく伝わっている。 □「学校応援団」と地域との連携が課題である。	B B	・学校の情報を幅広く広報している努力が見受けられる。 ・学校応援団活動の更なる充実を期待する。	
	教職員の資質向上	○教師力の向上を目指した学校づくり □教育公務員としての自覚と責任、信頼される学校	○校内研修の充実により成果と課題が見えてきた。 □保護者と絆が深まり信頼される学校づくりが推進された。	B A	・各教職員の努力している姿がよく伝わってくる。 ・教職員は地域から信頼されている。	
	施設・設備等の管理	○環境美化による安心・安全な学校づくり □配当予算を踏まえた施設・設備の充実	○PTAや地域の方の協力で快適な環境が維持された。 □大規模改修に関しては、今後の課題である。	A B	・環境整備には地域の力を使ってほしい。 ・各学校の裁量で使える修繕費が足りない。	
南中	組織運営	○幼小中学校間連携の継続 □若手教員の指導力の向上	○合同研修会を通してほぼ達成できた □アシスタントティーチャーによる計画的指導	A B	・先生方の熱心な指導に感謝する。 ・研究発表が重なったが、しっかり発表できてよかった。	5名
	教育課程	○学力の向上 □授業時間の確保	○計画的に補習学習をすすめ、効果があった □教科の授業時数に偏りが出た	A B	・授業や部活動への取り組みがしっかりとできている。 ・先生と生徒の良好な関係が見て取れる	
	開かれた学校づくり	○学校応援団の充実 □学校関連携教育の充実	○団員数も増え、活動内容の精選 □合同研修会を通してほぼ達成できた	B A	・学校だより、PTA広報誌がとてもよくできている。 ・幼小中の連携がよくできている。	
	教職員の資質向上	○若手教員の育成 □教育公務員としての自覚を高める	○全教職員協力の下、指導に当たることができた □倫理確立委員会がリードし、積極的研修を実施した	A B	・若い先生も一日中指導いただき感謝している。 ・先生の中で仕事量に偏りはないか。	
	施設・設備等の管理	○漏水の管理 □安全第一、危険箇所の確認と修繕	○市教委と連絡を密にして修繕に当たることができた。 □故障箇所は発見しだい、即時修繕を行った	B A	・漏水についてはどのように管理しているのか。 ・防犯カメラが設置されてよかった。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）　自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
北中	組織運営	○若手教員の育成 □次期リーダーの育成	○分掌等を通してのベテラン教員からの学び □主任を中心にした組織的な対応	B	・教員間のコミュニケーションが大切 ・報告、連絡、相談のあとの実行を確実に行うことが大切	4名
	教育課程	○学力向上 □道徳や特別活動の研究の伝承	○授業力向上の研修や補習の充実 □担任裁量になることが多々見られた	B	・緊張感のある授業規律や習熟度別授業の設定等が必要 ・良いものは確実に引き継いでほしい	
	開かれた学校づくり	○授業参観等の参観者の増加 □学校応援団や地域団体との連携	○リニューアルしたHP等を使っての周知徹底 □サマースクール等における北校生や保護者との連携	B	・日程設定の工夫や参観内容の工夫が必要 ・継続して事業に取り組んでいく	
	教職員の資質向上	○校内研修の一層の充実	○複数回の研究授業、相互授業参観の実施	B	・小中連携の研修会を実施し、情報共有を深めて欲しい	
	施設・設備等の管理	○生徒の安全のための計画的な修繕	○図書館改修や破損箇所の修繕	B	・次年度の第2校舎外壁工事を安全円滑に遂行してほしい	
青木中	組織運営	○委嘱研究本発表に向けて全校体制で取り組み、各分掌組織の連携をもとにした「ハートフル青中」の推進	○学級担任全員の、要請訪問を含めた道徳研究授業実施にもとづく委嘱研究本発表の成功。不登校生徒割合の数値目標を達成。	A	・昨年度に引き続き、今年も組織的な対応が奏功し、不登校生徒へのきめ細かい指導がよく分かった。	5名
	教育課程	○授業における振返りにより生徒の次時への興味・関心・意欲を高めながら、学習内容の定着や深化を図るための意識的・計画的な家庭学習の実	○「見通しと振返り」の授業への定着はほぼできているので、授業内容の確認習慣がついてきた。家庭学習については依然として不十分である。	B	・家庭学習については、生徒の興味や好奇心を刺激することが大切で、子どもは自分に必要なことには熱心に取り組む。	
	開かれた学校づくり	○「小中連携一貫教育推進事業」を活用した、保護者や地域の学校に対する関心の高揚、家庭・地域・学校が一体となった教育の推進。	○従来の小学校との連携を進めつつ、次年度に向けた新たな取組の提案や情報交換を管理職・教務主任を中心に行った。	A	・学校選択制がなくなり、校区小学校とのつながりがより強くなると思うので、小中連携一貫教育推進事業をうまく活用してほしい。	
	教職員の資質向上	○若手教員同士の連帯や協調を全校体制で支援。メンタルヘルスケアやワークライフバランスを意識した職場の雰囲気づくり。	○効率的に仕事をする意識が高まり、総体的な在校時間削減に結びついた。部活動の適正な運営も、休養日の確保や先を見通した計画を立て実施するようになってきた。	B	・これからの部活動には地域も関心を持っている。バックアップが必要な場合はぜひ連携していきたい。	
	施設・設備等の管理	○昨年度に続き、学校図書館司書の配置による図書館運営改善と校務PCの活用推進、会議等におけるペーパーレス化の促進、無駄のない予算執	○学校図書館司書の配置による環境充実と委員会活動の活発化。老朽化に伴う突発的な施設設備の問題が起こった。	B	・校舎、施設・設備の老朽化は大きな課題である。改修・修繕は様々行っているようだが、全体的にみると大規模な取組が必要だと思う。	
芝中	組織運営	○個々の教員の良さを生かし、組織力の強化 □不登校生徒解消（昨年度比3割減） △生徒会活動の充実	○適材適所の配置とベテランと若手教員の協働による組織力の強化。 □不登校生徒の昨年度比4割減を達成 △生徒会活動や行事など生徒主体の活動の実現	A A A	・教職員の年齢構成を考量した環境づくりに努め、ミドルリーダーを育成しつつ、組織力の強化を図ったことは評価できる。 ・不登校減少の数値目標を達成したことはすばらしい。	6名
	教育課程	○学習指導要領にそった授業の質的向上 □わかり・生徒が主体的な授業の実現	○「主体的・対話的な深い学び」につながる授業に取り組んできたが「深い学び」という点で課題 □どの学級も落ち着いた雰囲気での授業の実現。基礎・基本の徹底への取組実現。基礎・基本の定着が課題。	B B	・学習指導要領にそった「主体的・対話的で深い学び」を目指し取り組んでいることが理解できた。これからは、是非、「自分で考え、表現でき、他人の意見を聞けること」が大切だと思うので、この教育を継続してください。 ・放課後を使って、基礎・基本の徹底を図っていることはすばらしい。	
	開かれた学校づくり	○本校への理解を深めるための情報発信の強化 □学校応援団活動の充実	○HPの充実をはかり、保護者の9割が高い評価 □学校応援団、PTA,町会と連携した充実した取組が実現	A A	・学校での放課後学習等の新しい取組を一層HPに公開してください。 ・地域活動への中学生の参加をお願いします。	
	教職員の資質向上	○指導力向上への実効的な研修の実施 □教育公務員としての倫理観の向上	○実効的な研修（道徳・生徒指導・教育相談）を計画的に実施 □教職員事故ゼロを達成	A A	・これからも、教師の意識を改革する研修を実施してください。	
	施設・設備等の管理	○施設・設備の保全と安全確保 □芝中の桜を中心とした緑化環境づくり	○施設・設備事故ゼロを達成 □行政や学校応援団の協力により推進、桜の維持・保全に課題	A B	・芝中の桜の維持・管理には、私たちも協力していきたい。	

別添資料１-22-

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
元郷中	組織運営	○若手教員の参画による教育活動の推進と組織の活性化・組織力の向上	○多くの教職員が見通しを持った企画・立案に着手し、ミドルリーダーと若手の意識が向上	A	・先生方がよく頑張って、組織がまとまっている。	5名
	教育課程	○生徒の意欲・関心を引き出す授業の工夫と確かな学力の定着	○目標の明確化と見通し・振り返りのある授業の実施による授業改善の実	B	・ストロングポイントの取組を、今後も期待している。	
	開かれた学校づくり	○家庭・地域・学校の連携強化による教育活動の実施	○学校運営協議会の発足と、各種PTA行事への生徒の参加により連携強化の実現	A	・地域清掃ボランティアはよい取組なので協力したい。	
	教職員の資質向上	○ミドルリーダーの指導・助言の実施とワークライフバランスを意識した資質向上	○管理職とミドルリーダーによる助言で若手の資質向上に努め、若手の意識改革が実現	B	・教職員の取組はよい。作品展示に工夫がほしい。	
	施設・設備等の管理	○安心で安全な施設・設備の維持管理	○老朽化の激しい施設設備であるが、危険箇所の早期発見に努め、事故0	B	・体育館の修繕を早急に実施してほしい。	
上青木中	組織運営	○学校教育目標「凡事徹底」～当たり前のことが当たり前にできる生徒・学校・教職員～の育成 □学校経営方針「すべての活動は子供たちのために」の実践教育	○学年主任・教科主任等を中心に共通理解のもと、実践できている。 □不登校生徒は減少しないが、SC・相談員と連携し教育相談体制が充実した。	A B	・学校は落ち着いて、地域にも評判が良い。 ・不登校生徒の減少に向け今後も取り組んでほしい。	4名
	教育課程	○学力向上の研究委嘱発表を成功させる	○授業研究が充実した。英語検定・漢字検定を実施。小学生にも受験してもらった。	A	・今後も小中連携として検定を実施してほしい。	
	開かれた学校づくり	○学校情報の積極的な発信する □地域行事へ積極的に参加する	○学校便りで積極的に発信し、地域連絡協議会の開催で情報交流が実現 □川口市地産品フェアーへの参加や美術部・吹奏楽部の地域の文化祭・桜祭り等へ参加できた。	A A	・学校便りを楽しみにしている。 ・PTAバザーや地域行事への吹奏楽部の参加はいつも楽しみにしている。	
	教職員の資質向上	○ライフスタイルに応じた職員研修の充実 □学力向上の研究委嘱への取り組み	○教職員は意欲t系に参加し研鑽を積んだ。 □研究推進委員会を中心に本発表は大成功になった。	A A	・先生方が意欲的に授業をされてるのが伝わってくる。	
	施設・設備等の管理	○教育環境の整備充実 □効果的な予算配分と会計監査	○速やかに修繕業者等への手配と修繕ができた。 □保護者に監査して頂いた。	A A	・西門のウォールペイントは素晴らしい。	
幸並中	組織運営	○リーダーの育成と運営体制の組織力強靭化 □配慮を要する生徒対応と不登校・いじめ対策推進	○各担当との連携強化による迅速な学校運営の実現できた □教育相談部会の活性化による個別対応を推進した	B B	・校長の学校経営方針が職員に十分浸透している ・職員の学校経営参画意識が高い	5名
	教育課程	○指導法の工夫改善と健康教育の充実 □日本語指導充実による低学力層の引上げ	○健康教育の推進と体力向上への取り組みが図られた □日本語指導と国語科連携による外国籍生徒への指導充実	B B	・「勉強がわからない」「学習内容がわからない」という生徒への手当の充実 体力向上にも力を入れ、真の文武両道を望む	
	開かれた学校づくり	○HPの積極的公開による地域の信頼と協力確保 □新校舎落成記念事業の充実による地域連携強化	○町会の祭事・地域行事へ多くの生徒が参加協力 □生徒会・部活動の地域ボランティア積極的参加	A A	・町会行事への参加協力がすばらしい	
	教職員の資質向上	○実践的効果的研修の推進による教師力向上 □若手教員の授業力や対人関係の力量向上	○指導者招聘、相互授業参観による理論と実践研修 □教育公務員としての自覚と教師としての使命感育成	B B	・校内研修により若手教員の育成を望む	
	施設・設備等の管理	○新校舎の適切管理と効率的な利用 □適切な運動量確保による体力向上	○特別教室の効果的活用や効率的な給食活動指導 □近隣スポーツ施設の協力による部活動指導充実	B B	・新しい校舎に相応しい、美術作品が展示され、アートギャラリーのようであ	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
十二月田中	組織運営	○各教職員の個性･強みを生かした取組の充実。 □学習指導、生徒指導等の学校としての方針や指導方法の共有化。	○中堅･若手教員に仕事が多く分担などに偏りができてしまうところがある。 □共通理解は進めているが、中心となって行う人材の育成が必要。	B B	･教職員のメンタルヘルスについては大切にしてほしい。 ･若手教員の相談にのれる先生が、学校に何人かいるとよいと思う。	5名
	教育課程	○基礎基本の着実な定着のための指導方法の工夫･改善。 □「特別の教科道徳」実施にむけた準備を含めた、新学習指導要領への対応準備。	○　十二月田小との連携は順調、今後は学区内3校との連携をすすめる。 □新学習指導要領の趣旨や道徳の推進については研究を深めることができた。	B A	･小学校からの継続的な取組（宿題など）は大切だと思う。 ･インターネットやスマートフォンの使用についての指導は充実させてほしい。	
	開かれた学校づくり	○ホームページやメール等を活用した保護者、地域への積極的な情報発信。 □民生委員会議等を活用した学校と地域との情報、問題意識の共有化。	○ホームページの更新や学校便りの発行は計画的に行えた。 □民生委員会議での情報や意見の交換により、心配な家庭の状況把握、対応などができた。	A A	･十二月田中学校は地域とのつながりが強い学校なので今後も大切にしてほしい。 ･部活動の在り方についてはどこに、どの生徒の焦点を当てるかが大切。何のためにやるのか、勝つことが目的にならないこと。	
	教職員の資質向上	○道徳の指導方法、評価方法に関する研修の実施。 □「主体的･対話的で深い学び」を実践させるための指導方法の工夫改善。	○道徳の研修が多く設定でき、教材開発なども進められた。 □「主体的･対話的で深い学び」について外部講師を招聘して研修することができた。	A B	･教員は自分が良い子として育ってきていることが多いため、外れた生徒などへの対応が下手な場合が多い。 ･管理職をやりたくない教員が増えているのではないか。	
	施設･設備等の管理	○安心･安全な学校作り □美しい校内環境の整備	○毎月の安全点検は計画的に実施され、適切な対応ができた。 □教頭と連携して計画的に学校整備の予算執行ができた。	B A	･体育館天井の修繕など、関係機関と連絡を取り改善されることが望まれる。	
仲町中	組織運営	○学力向上に向けた指導力の向上 □不登校対策（出現率の減少） △教職員の健康維持	○校内研修等により、若手教師の指導力の向上が図れた。 □人数的な改善はできなかったが、前進することができた。 △昨年度より、教職員の健康管理の向上がみられた。	B C B	･先生方の頑張っている姿がみられている。 ･不登校対策には、引き続き頑張って欲しい。	4名
	教育課程	○主体的･対話的で深い学びの推進 □インクルーシブ教育の推進	○研究授業や公開授業により向上を図ることができた。 □通常学級との給食･昼休み交流、支援籍児童との交流を実施することができた。	C A	･子どもたちも学習内容が多すぎて大変である。 ･体力の向上が見られたことは素晴らしい。 ･特支の生徒の頑張っている姿が見れるとうれしい。	
	開かれた学校づくり	○定期的な情報発信 □地域の人材を活用した教育活動の推進 △地域の学校との連携	○計画通りに実施することができた。 □総合学習にて、地域の人材を活用した取り組みができた。 △仲町小との連携活動（生徒･教師）が推進できた。	A A B	･学校だよりは情報源としてありがたい。 ･学校公開時の来客数が増えるように働きかけたい。	
	教職員の資質向上	○キャリアに応じた、学校運営への意識の向上 □積極的な教育相談の向上 △ワークライフバランスの推進	○若手とベテランがチームワーク良く学校運営が進められた。 □教育相談部会を中心に組織的な対応ができた。 △在校時間の管理により、推進することができた。	B B B	･不登校対策に向けて、先生方には頑張って欲しい。 ･くれぐれも健康管理には注意してほしい。	
	施設･設備等の管理	○安全な教育環境の維持	○日々の安全点検の実施により、校舎修繕の迅速な対応ができ、安全な教育環境の維持ができた。	A	･地域の活動においても、体育館やグラウンドを使用されてもらっているのでありがたい。	
安行中	組織運営	○　ﾐﾄﾞﾙﾘｰﾀﾞｰを育成し、組織力の強化 □　不登校解消、個に応じた教育相談充実	○　教職員の学校運営参画意識は92%達成 □　不登校計21名（3%）。目標未達成	A C	･学校運営への参画意識は高く、教員はよく頑張っている。 ･校長の困りごとアンケートは効果的である。	10名
	教育課程	○　学んだとこを活用する応用力の向上 □　家庭学習の習慣化させ基礎学力の定着	○　授業理解度は概ね含め82.1%達成 □　宿題を含めた家庭学習実施状況82.3%達成	B B	･家庭学習、学力調査問題への取り組みは効果的である。 ･3年生に進学意識、学習意欲向上を期待している。	
	開かれた学校づくり	○　授業参観への保護者出席率向上 □　地域との繋がりのさらなる強化	○　4月+4%、7月−7%、12月±0%で目標未達成 □　おやじのが会立ち上がり各行事で活躍	C A	･校長の講演、魅力的な講師の召還等工夫が必要である。 ･生徒のﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ、おやじの会の活躍が顕著に見られた。	
	教職員の資質向上	○　授業力を中心とした教師力の向上 □　職務の効率化、職員の心身の健康維持	○　教師力の向上意識が概ね90%達成 □　平均在勤時間は減少。教師の負担意識は増	A B	･教師力向上を受け生徒の質が年々向上している。 ･電話受付時間を決めるなどで負担軽減してほしい。	
	施設･設備等の管理	○　職員の危機管理意識の向上 □　修繕や備品予算の計画的運用	○　概ね達成。生徒目線の取り組みが課題 □　後援会、地域の協力で計画的運用達成	B B	･先生方の指導で生徒達が備品を大切に使っている。 ･強風で倒れた桜の木の植樹を考えてほしい。	

別添資料１-24-

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
芝東中	組織運営	○明確な目的意識を持った教育活動の実践 □参画意識を高める校務分掌の編成 △創造的な分掌担当からの提案	○学校課題への組織的な対応が実現 □学校評価で積極的に参画した教職員の割合88%で達成 △管理職と相談し、計画的・機動的な取組の実現	A A A	・校長の学校経営方針が職員に理解され、教職員の協力体制が構築できて ・教職員の学校運営参画意識が高い。	5名
	教育課程	○基礎的な知識・技能の確実な定着 □家庭学習・自学習の習慣化 △全国学テ等調査に基づく課題把握・解決実践	○生徒評価、昨年度比若干のプラス72%、あと一歩 □生徒評価、昨年度比若干のマイナス54%、あと一歩 △年度当初と年度途中で確認し、実践	B B B	・「学習内容の理解が十分でない」という生徒への手当の充実を望む。 ・家庭学習について、教員は「何を・どう勉強するのか」のアドバイスを具体的に指導することを望む。	
	開かれた学校づくり	○学校HPの掲載内容の工夫 □学校評議員会の定例化 △地域と連携を図った教育活動の推進	○リアルタイムの情報を随時更新 □年間行事計画に位置づけ達成 △地元町会の防災訓練に生徒が参加	A A B	・生徒の活動がリアルタイムでわかりやすい。 ・今後、地域との取組について、新しい活動を協議していきたい。	
	教職員の資質向上	○人事評価制度を活用した指導力の育成 □小中連携の研修会 △校内倫理確立委員会の活性化	○教室訪問による指導法の指導一人２回以上達成 □通学校区内の小学校３校との合同研修会実施 △定例化年20回、通信発行20号、校内研修会実施	A B B	・教職員の指導力向上研修は引き続き成果を期待する。 ・小学校との連携を深め、９年間の学びの成果を期待する。	
	施設・設備等の管理	○計画的な施設改善の取組 □計画的・日常的な安全点検の実施 △潤いと落ち着きのある教育環境づくり	○保護者プラス評価83%、武道場の床・教室黒板改修完成 □管理職毎日2回以上、教職員毎月実施 △教職員プラス評価100%、委員会活動として実施	A A A	・施設設備の改修は今後も市教委と十分連絡調整をし、生徒の安全を第一優先でお願いする。	
芝西中	組織運営	○「すべては子供（生徒）のために」組織の一員として、積極的に学校経営に参画する教職員を育て、組織力持って取り組む。	○全教職員が「すべては子供（生徒）のために」を指導理念として教育活動あたるなど、「目指す学校像」の実現に積極的に取り組んだ。	A	・校長の学校経営方針が、職員によく反映されている。	4名
	教育課程	○移行期間を踏まえた教育課程を編成し、「基礎・基本の定着」と「主体的・対話的で深い学びを」を視点とした授業を展開する	○主体的・対話的で深い学びのある授業の実現に向けて、全職員で授業改善に取り組んだ。生徒調査の結果では授業が楽しい、わかりやすいと回答した生徒が増えた。	B	・授業が楽しい、わかりやすいと回答した生徒が増えたが、学力向上に向けて、さらなる工夫改善を望む。	
	開かれた学校づくり	○学校・家庭・地域が連携・協働し、互いが理解し合い役割を明確にして生徒のよりよい成長を支援する体制を構築する。	○学校運営協議会の活性や地域と連携した活動（地域学生ボランティア参加生徒数延べ２７４名）等を通して地域とともにある学校づくりが構築できた	A	・地域との連携は素晴らしいものがある。	
	教職員の資質向上	○法令違反及び社会通念上不適切な言動・行動による教職員の事故ゼロ	○スリーS（スマイル、スピード、真摯）で丁寧な初期保護者対応保により信頼関係を築けている。また、法令違反等の教職員の事故はゼロであった。	B	・丁寧な保護者対応は、よくできている。来年度は職員の負担軽減を進めてほしい。	
	施設・設備等の管理	○生徒の安心・安全と教育活動の充実に資する管理及び予算運用 □金銭事故及び施設の瑕疵による事故のゼロ	○適正ｏつ的確な予算運用により、生徒の安心・安全と教育活動の充実を図ることができた。 □金銭事故及び施設の瑕疵による事故のゼロであった。	A	・施設設備の老朽化に、適切に対応している。 ・会計の適正処理は、今後も続けてもらいたい。	
岸川中	組織運営	○組織的・協働的な指導の充実を図る。 □信頼される学校づくりを目指す。	○相互支援体制の充実を図ることがきた。 □保護者・生徒の満足度も高く安定した学校運営ができた。	A B	・先生方が協力しながらしっかりと生徒を指導している。 ・不登校生徒への対応を学校としても頑張ってほしい。	12名
	教育課程	○生徒一人一人の学力向上を図る。 □生徒の健全育成を図る。	○家庭学習の充実及び授業改善を推進することができた。 □指導の重点化・共通化を進めることができた。	A B	・どの先生も工夫して授業を進めている。 ・人として大切な力を育てていってほしい。	
	開かれた学校づくり	○学校運営協議会の充実を図る。 □地域貢献活動の推進と積極的な情報発信。	○地域との双方向の協力体制ができている。 □ボランティア活動の推進及びリニューアルしたホームページにより積極的な情報発信ができた。	B A	・地域の活動への参加を促してほしい。 ・ボランティア活動は、今後も大切にしてほしい。ホームページは、保護者からも感謝の声が寄せられている。	
	教職員の資質向上	○学ぶ合いの機会を充実させ、理論と実践力の向上を図る。	○要請訪問等、相互に授業を参観し、指導の充実を図るための体制づくりを進めた。	B	・先生方もよく頑張っている。働き方改革を進めるとともに、地域に参加する時間をつくってほしい。	
	施設・設備等の管理	○清掃・掲示物による学習環境の充実を図る。 □安全管理の徹底と適時適切な対応。	○落ち着いた学習環境を整備することができた。 □安全管理の徹底を図り、大きな事故の発生なく過ごせた。	B A	・校内の掲示物には素晴らしいものが多い。古い校舎だが清掃も行き届い ・今後も事故の起きない学校づくりをお願いしたい。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
榛松中	組織運営	○教職員の分掌や役割等についての「認め、励まし、見届け」の徹底と、管理職を中心とした学校運営や教職員の学校参画意識の向上	○それぞれの分掌が機能し、報告・連絡・相談が密にとれ、学校組織として結束して業務がなされるようになった。	B	・学校の雰囲気がとても温かく、生徒一人一人に丁寧に対応している印象がある。 ・学校評価の生徒アンケートの結果について「学校が楽しい」の楽しく感じない生徒への対応を次年度への課題として取り組んでほしい。	4名
	教育課程	○全国学力・学習状況調査のA問題の正答率のアップ ・埼玉県学力・学習状況調査の伸び率の向上 ・学習習慣の定着	○学力向上に向けた方略など各学力学習状況調査の結果の検証のもと、実践していくことができた。	B	・学力向上に向け、生徒一人一人が自ら考え行動できる力の育成が必要であり、ディスカッション等を充実させ、成果を上げてほしい。授業改善を今後も継続していってほしい。	
	開かれた学校づくり	○PTAや地域への継続した貢献と、授業におけるゲストティーチャー等の積極的かつ計画的な取組	○PTA、地域への協力活動など計画的に実践できた。 ・教科の授業におけるゲストティチャーの導入が不十分である。	B	・達成度はBであるが、限りなくAに近いと感じる。今年度のバザーにおいて、榛松町会のブースなど地域が、学校のために「一肌脱ごう」と思える試みがあり、学校と地域が互いに協力し合っていると強く感じている。	
	教職員の資質向上	○「気づく」「考える」「深める」を通した主体性を育てる授業づくり	○先進校（県立高校等）から指導者を招き、研修を深めることができた。また、教員一人一人が、授業改善に向け積極的に取り組むことができた。	A	・授業に工夫があり、教員が教え込んでいる授業でなく、生徒が主体的に活発に学習に取り組んでいる印象がある。 ・授業で学習意欲を向上させることが家庭学習の定着度につながると感じz	
	施設・設備等の管理	○校内施設のバリアフリー化 ・掲示物の充実と明るく潤いのある教育環境の整備	○計画的に老朽化した箇所や教育環境を潤す整備など有効に予算を執行し取り組むことができた。	A	・学校内がきれいで、教室内もとても温かい雰囲気を感じる。特にユニバーサルデザインを意識した黒板わきのカーテン設置は、落ち着きのある授業に効果的である。	
小谷場中	組織運営	○目指す学校像具現化に向け、チームとして力を発揮できる組織運営 □各主任のリーダーシップによる機動的な実践ができる組織の実現	○明確な学校課題のもとに、企画委員会、生徒指導委員会がリーダー性を発揮する機動的な組織が実現。 □校務分掌各主任が中心となり、課題解決に向けて組織的な取組を実施。	A B	・教職員それぞれが得意分野でさらに力を発揮し、全体が高まっていくチームワークを期待	5名
	教育課程	○「生きる力」に繋がる体験活動や指導を推進 □「魅力のある授業」を実践し、「思考・判断・表現力」を高め、学力向上を推進	○教育課程実施の確実な管理を踏まえ、道徳・総合的な学習の時間・特別活動が充実。 □校内研修、指導者を招聘しての授業研究を通して、授業力が向上。外部からの支援者が増え、補習も充実。	B B	・今後はさらに「考えさせる授業」の実践が必と思われる ・部活動にもっと教員が関われる体制を希望	
	開かれた学校づくり	○家庭・地域の連携した教育活動の充実による、「地域とともにある学校」づくり □学校運営協議会における検討を「魅力的な学校づくり」に反映	○学校からの発信や様々な活動による、家庭・地域との連携が充実。生徒による地域行事等への参加も増加。 □学校運営協議会委員による校内研修参加、安全指導の実施等を通し、学校運営上重要な意見交流が実現。	A A	・今のスタンスで、今後も地域と一緒に歩む体制を期待 ・地域住民がさらに学校に踏み込める雰囲気が必要 ・部活動支援としての地域人材の活用を希望	
	教職員の資質向上	○生徒一人一人の成長を確実に支援する教職員の育成 □使命感と情熱をもった教職員の育成と、各自の能力を最大限に発揮できるチームワークづくり	○企画委員会・生徒指導委員会等での検討を踏まえた、生徒理解に基づく指導力が向上。 □校内研修の充実、外部研修への参加の増加を通して、教職員の資質が向上。	B B	・今の世の中にあって、教員が「人に迷惑をかけてはいけない」ことを教えることが必要 ・教職員学校評価の数か所に対する評価を上げる努力が必要	
	施設・設備等の管理	○緑化・環境美化・環境整備による潤いのある学校 □安全な教育活動のための施設・設備の管理	○学校緑化、校内掲示の充実等による潤いのある学校が実現。 □確実な安全点検と早急な修繕等による、施設・設備の適切な管理が実現。	A A	・施設整備の充実、校内美化は称賛に価する ・すばらしい環境のさらなる活用を期待	
神根中	組織運営	○学校課題を明確に示し、教職員の学校運営に対する参画意識を高める。	○・日課表と勤務の割振りは大きく変更できた。教師と生徒が向き合う時間は創出できた。 ・行事等において主担当の熱心な運営が見られ、職員全体で協力体制もとれた。	B	○交通安全への対策をしっかりとること。 ○小中合同での安全対策会議を企画すること。	3名
	教育課程	○学校の特色を生かし、行事を通して生徒の育成を図る。	○・体育祭を団にまとめ学年を縦にグループ化し、生徒も教師も団結力を高めた。 ・英語弁論暗唱大会入賞者の披露発表、科学館職員の科学教室の開催を実施した。 ・作家高樹のぶ子氏を招聘した。	A	○体育祭の団による縦割りはよい。 ○人間としての素養をさらに育てる手立てを。	
	開かれた学校づくり	○学校の教育活動を知っていただく機会を設定し、連携を図る。	○・バザーや体育祭や部活動への応援や支援など協力がいただけた。 ・吹奏楽全国出場および40周年記念を機に19町会長およびPTA歴代会長宅を訪問した。	A	○神根中の生徒のあいさつはとてもよかった。最近少し減ってきたように感じる。指導を。	
	教職員の資質向上	○教職員個々の教科指導力と生徒指導を伸長させる。 □教職員の共通理解を深めながらチームワークづくりを推進し、学校の教育力を最大限発揮できる職場をつくる。	○・授業研究会を複数実施した。 ・自主勉強会は1学期に1回実施し3学期にも1回実施する。 ・個別面談は全員と実施した。 ・道徳の研究も進められた。 ・学力調査には成果が見えない。 ・心の教育の必要性は更に高まっている。	B	○アットホームな雰囲気があって、教師と生徒の距離が近い。とてもよい。	
	施設・設備等の管理	○計画的な予算執行を行い、安全対策を中心に管理を進めて行く。	○・学校配当予算に加え、PTA助成金やバザー収益など各種予算を適切に運用できている。 ・会計事故は0を達成できている	B		

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
領家中	組織運営	○目指す学校像の具現化に向けた教職員一人ひとりの実践的指導力の向上 □学校運営への参画意識の高揚	○校長の学校経営方針は深く浸透してきている。今年度は特に生徒会と学年委員会の活動の組織化・活性化が図れた。 □校長、教頭の適切な指導助言をとおして教職員の学校運営への参画意識が高まってきている。	B B	・領家中の「あいうえお」が浸透し、教職員が一丸となって子どもたちの教育に当たっている様子が随所にうかがえる。 ・不登校出現率0．7%に減少したのが素晴らしい。今後一層、学級・学年における子どもたちの居場所づくりを進めてほしい。	4名
	教育課程	○学校訪問、要請訪問、校内研修の充実 □「気づき→考え→活動する」学力の定着を目指した授業の充実	○校長、教頭による教室訪問、授業参観をとおして適切な指導助言を行い、授業改善が図られている。 □日々の授業実践を中心に据え、教科部会、要請訪問などを通して授業力の向上は図られてきている。	B B	・毎回授業を拝見していますが、どの学年、クラスも生徒たちが落ち着いており、積極的な授業態度にはいつも感心させられます。 ・ADHDやLDなど特別に支援が必要な子への対応の成果が上がっており、先生方の努力を感じました。	
	開かれた学校づくり	○学校だより、HP、メール配信により積極的な情報発信に努める □学校評議員会、民生委員会議等の諸会議を通して、相互理解を深める	○本年度は特に40周年記念事業を通して家庭、地域との信頼関係は着実に図られた。 □民生委員会議が充実しており、地域との相互理解や連携が深めることができた。	A A	・開校40周年記念事業を通して地域との絆がより深まった1年でした。祝う会での生徒の態度や発表内容、歌声はとても素晴らしかった。 ・民生委員会議を初めて3年目になりますが、会議の内容が年々充実してきています。	
	教職員の資質向上	○生徒が「わかる」「できる」「伸びる」授業の実践。	○学校訪問、要請訪問、日常の教室訪問により徐々に指導技術の向上が図られてきたが、今後も継続的な取り組みが大切である。	B	・毎回授業を拝見し、大型テレビを使ったり、小さなホワイトボードに書き込ませたり、工夫した授業を行っていることがよくわかります。 ・今後とも、校長先生のリーダーシップに大いに期待しています。	
	施設・設備等の管理	○安全指導の徹底による生徒の危険回避能力の育成	○計画的な避難訓練や情報モラル講座等の実施により、生徒の危険回避能力の向上を図ることができた。	B	・来年度から新しい部活動方針が出るようですが、子供たちの体調管理、健康管理をよろしくお願いします。 ・地震だけでなく竜巻や台風などいろいろと想定した避難訓練、情報モラル講座などを実施しており、指導が多岐にわたって大変ですが、よろしくお願いします。	
戸塚中	組織運営	○学校教育目標の具現化に向け、各教職員一人ひとりに経営参画意識の強化 □校内組織体制の改善	○組織改善に取り組んできたが、会計に関する組織体制に課題があることが明確になった。 □まだこれから最後の組織編成がある。	C B	・取り組みは良いと思う。常に改善が求めらている。 ・バランスの良い働き方ができることを期待している。	5名
	教育課程	○生徒の実態把握(国・県の学習」状況調査等の検証)に基づく学力向上を目指す □生徒一人一人が「できた・わかった」と声のあがる授業への取り組みを目指す	○分析を統一して行うことができなかった。分析発表会を次年度行う。 □知識構成型ジグソー法の研究に全員で取り組み授業改善につながった。	B B	・分析こそ、改善のために重要である。対策発表会は良いアイディアだと思う。	
	開かれた学校づくり	○来校者数昨年度比105% □授業公開、地域行事等への参加協力やボランティア活動など、学校教育活動を地域に拡大	○来校者数140%超えを達成できた。 □地域の催しや小学校に出向いて、出前授業を行うなどおおむね目標を達成した。	A B	・来校者が増えたことは喜ばしい。 ・ホームページが分かりにくい。扱いにくい。	
	教職員の資質向上	○市教委嘱の学力向上の研究を推進し、生徒の主体性を伸ばす指導力の育成。 □道徳、知識構成型ジグソー法、ライフスキルの研修	○生徒の主体性を意識した授業作りのための研修に意欲的に参加するようになった。 □道徳、知識構成型ジグソー法、ライフスキルの研修を進めることができ	B B	・今回の取り組みを聞いて、納得できた。	
	施設・設備等の管理	○施設・設備の有効活用と危機管理意識の啓発・継続・徹底 □PTA等団体と協力した修繕・環境整備の推進	○危機管理意識の低さから会計事故をおこしてしまった。 □計画的に行えた。	B B		
在家中	組織運営	○落ち着きと潤いのある学校づくりを進め、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成 □各分掌の課題発見をもとに方向性を共有し、明るく前向きな職場をつくる	○各組織が機能し、見通しある教育活動ができた。 □4つの伝統「挨拶のできる学校」「清掃活動が行き届いた学校」「生徒会活動が活発な学校」「歌声が響く学校」が定着した。	A A	・保護者・地域からの見た生徒の様子は、落ち着いた学校生活が伺える。この状態をいつまでも継続してもらいたい。 ・教職員が温度差のないねばり強い指導を心掛けている。生徒たちにも良い影響を与え、健全な心身が育めている。	4名
	教育課程	○基礎基本を確実に定着させ学力向上を目指す □生徒一人一人が「できた・わかった」と声のあがる授業への取り組みを目	○基礎基本の定着を重視した授業を展開することで学年に応じて学力の定着を図った。	B B	・学力向上の課題がある。今後は教職員で力を合わせて指導力向上を目指す。家庭学習の定着がまだまだの課題である。	
	開かれた学校づくり	○保護者・地域の方々より、意見を取り入れられるように中学校としての存在価値を示す □9ヵ年を見通した小中連携づくりと共に、教育活動等の交流を積極的に進める	○学校公開日の内容を充実させ保護者・地域の方々に授業実践の声を反映した。 □小学校との連携を強化し、夏季休業中の合同研修会を実施し、挨拶運動や生徒会活動の交流を図った。	B B	・生徒は、来校した地域・保護者の方々に、元気で爽やかな挨拶をすることができている。 ・学力向上の取り組みについて、生徒を伸ばす具体的な対策を練る必要がある。	
	教職員の資質向上	○生徒にとって魅力ある授業にする教員の指導力向上を目指す	○学習規律を授業の根底を図り、ユニバーサルデザインを生かした学習指導の工夫改善を進めた。	B	・学校全体の学力、学力の伸びが向上している一方、学力の定着が図れない。	
	施設・設備等の管理	○教師集団として、生徒第一主義を掲げ、教育環境の整理整頓 □施設・設備の有効活用と危機管理意識の啓発・継続・徹底	○教頭、安全主任を中心に安全第一優先に修繕に取り組んだ。 □校内倫理確立委員会を定期的に実施し、職員会議ごとに研修を深めた。	B	・生徒にとって、安心安全な場としての学校環境の整備を願いする。 ・校舎が築35年を迎えますが、明るく美しく保たれている。日ごろから、清掃活動に取り組んでいる成果である。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
安行東中	組織運営	○校務分掌再編による横断的組織の機能向上 □日課表及び会議研修等の運営の改善 △学校評価の項目の継続的改善	○スリム化が推進され教職員の組織力が大幅に向上 □時間の有効活用が推進 △学校評価の項目及び内容の一部改善・作成完了	A B A	・組織として教育課題の解決に取り組んでいる姿勢が良い ・規律と活気ある雰囲気が醸成されてきた ・簡潔で良い評価項目である　・保護者用の再考を	5名
	教育課程	○授業改善を柱とする教育指導計画を立案実施 □小学校との連携強化を図る教育活動の充実	○授業形態や個に応じた指導の工夫改善が推進 □短期的な小中連携による教育活動の交流実施	B B	・家庭学習の必要性を家庭に訴えてほしい ・今後も小中連携した教育活動を推進してほしい	
	開かれた学校づくり	○学校から地域へと積極的な教育活動の推進 □「学校・家庭・地域」の連携を強化	○地域文化を生かした美化活動の推進充実 □地域と連携した教育活動・ボランティア活動の大幅推進	A A	・充実ぶりがよくわかる、継続してほしい ・生徒の顔が見える学校づくりが成果を上げている	
	教職員の資質向上	○生きる力を育む授業改善の推進 □授業改善研究協議会を発展充実	○授業改善を主題とした研修は職員の評価が高く充実 □全職員による連携と協力で効果が上がった	A B	・教職員相互の支援体制の充実が伺える ・生涯学習の礎となるような授業改善を推進して欲しい ・生徒に寄り添う教育活動の実践が随所に見られる	
	施設・設備等の管理	○教育環境を有効活用しての教育活動を実践 □適正な予算執行を支援する組織充実	○緑化環境の維持保全に努め教育環境の整備が図れた □財務委員会が機能し効果的予算活用がなされた	B A	・生徒に優しい教育環境に発展している ・学校の緑化環境整備の継続充実を図ってほしい	
戸塚西中	組織運営	○校長・教頭・主幹・主任を中心として機動的な学校運営 □学校教育目標の具現化に向けた明確な目的意識を持ち教育活動を策定し実践 △全教職員の学校経営参画意識と教職員の負担軽減	○教頭・主幹を軸に各主任を動かし、情報提供、情報共有をすることで組織的な学校運営 □各分掌主任を中心に共通理解を図り、会議の効率化に努め、目標を明確にした活動 △教職員の負担軽減については、任された仕事の個人差があるため、仕事の内容の精査が必要	B B B	・若手、ベテラン教職員の交流、協力により組織的な活動がよくできている ・情報の共有を学校全体で組織的に取り組んでいる ・残業等教職員の負担軽減については各学校ごとの対応のみならず、根本的な制度改革が必要	5名
	教育課程	○研修の充実とわかりやすい、魅力的な授業の展開、「主体的・対話的な深い学び」の実践 □授業時数の確保とライフスキル、道徳教育の充実による豊かな人間性の △相談部会での一人一人の支援方法の確認により不登校生徒を2%台にする	○学習指導要領に基づいて教育活動を実践し、主幹、研修主任を軸に学力向上に取り組む □道徳教育の研修により道徳の授業を進めることで豊かな人間性の育成 △「笑顔・挨拶」があふれる学校を目指して、生徒指導、教育相談部会の活性化、一人一人を大切にした対応策や外部諸機関の活用で不登校は2%	B B B	・魅力的なわかりやすい授業が行われていた。学力向上、人間性の育成のために引き続き改善を望む ・学力向上のみならず、心の教育、道徳教育は家庭とも意識を共有できると ・不登校生徒や保護者の対応は大変難しい問題	
	開かれた学校づくり	○学校情報の積極的な発信 □各行事、学校公開日の充実のための工夫・改善 △学校応援団、PTAによる環境緑化活動により竹林整備と植木の管理の仕方の改善	○HPの定期的な更新 □学校公開では、400名を超える保護者、地域の方の参観 △地域のパトロールにおいては、朝の登校指導や安全指導	B A B	・HPやメールの活用はSNS社会において必要だと思うが、子供や学校に関心を持つ保護者が増えている分、一層気を引き締めて取り組むべき。 ・学校公開への多数の参加は素晴らしい。 ・地域の防災活動等への参加を検討しているか（地域との連携）	
	教職員の資質向上	○校内研修の充実、一人1授業公開や指導者招へいによる研修の充実を図り、資質の向上と授業力の向上 □教育相談対応と積極的な生徒指導による信頼される学校づくり	○主幹・研修主任を軸に計画的な校内研修を実践し、互見授業の実践、講師を招聘した道徳授業、ジグソー法を活用した授業研究、道徳の実践授業 □教育公務員としての自覚と倫理確立委員会からの提案により信頼される学校づくり	B B	・昨年同様教職員の質は高く、十分信頼できる学校づくりができている。来年度もさらなる向上を目指してほしい。 ・どのクラスもお落ち着いており、教師に対して生徒からの信頼もある。今後も資質の向上に励んでほしい。	
	施設・設備等の管理	○計画的、定期的な安全点検の実施と即時対応 □校内環境整備と心和む空間づくり △清掃活動の充実	○安心・安全な学校づくりのための計画的、定期的な点検及び臨時的な点検を行い迅速に対応 □校内環境整備においては、心和む空間づくりに向けた掲示物の充実やPTAとの連携による環境整備の充実 △校内美化活動において美化主任を中心として「美している学校」の意識付けを進めた清掃活動	B B B	・校舎の老朽化や校内の整備について限られた予算の中での修繕となるが、子供たちの安心安全と快適な学習の場が作れるように。 ・緑化活動は地域の植木業の方のボランティアにより成り立っていた。さらに学校応援団、PTAとの連携が必要。 ・市や教育委員会が積極的かつ前向きに協力することが望む。 ・校内の清掃状況は良い。	
鳩ヶ谷中	組織運営	○自分の仕事に責任を持って取組み、和の精神を重んじて学校運営に貢献する意識の育成 □若手教職員が意欲と当事者意識を高く持ち、学校運営に対する参画意識の育成	○職務に対して、責任を持って取り組もうとする姿勢が見られ、学校運営に貢献しようと努力している教職員が多数 □ベテラン教職員が、これまでの経験を通して培ったことを若手教員に向けて研修を実施し、学校運営への参画意識を高揚	B	・指導の難しい生徒への対応を研修していく必要がある。 ・若手教職員は保護者との対応にも苦慮していて大変なのがわかる。	4名
	教育課程	○生徒の実態とその背景を把握し、学習指導要領の趣旨を踏まえた教科・領域指導の推進 □生徒が主体的に取組む教育活動を展開	○諸調査の結果を分析し、改善点の克服に努め、「鳩中授業スタイル」の徹底が図られるよう人事評価面談を通しての指導・助言 □生徒が主体的に活動するための教育活動の展開	B	・生徒が落ち着いて、しっかり授業を受けていてよい。 ・今後とも、生徒自らが主体的に考えていく授業を発展させ、継続していって欲しい。	
	開かれた学校づくり	○学校が持つ情報の発信を発展的に継続実施 □保護者や地域の方々と連携した取組みの推進	○学校が持つ情報は、個人情報をのぞいて、保護者や地域に積極的に発信 □保護者や地域との連携を図り、開校70周年式典を始めとして、地域貢献活動や防災訓練等を実施	A	・業務多様の中、ホームページの更新、保護者緊急メールの配信等ありがとうございます。 ・行事によっては、もっと保護者に来校してもらえるような工夫も必要である。	
	教職員の資質向上	○校内研修を年間計画に位置付け、理論と実践を踏まえた研修への取組 □生徒第一主義の旗印の下、自己を磨き、相互に磨き合い、教師力の向上	○「徳力向上」にむけ、今年度は市教委委嘱の道徳の研究発表を行ったことでの道徳の授業力の効果的な向上 □講師を招聘した授業研究会を学期に1回ずつ行ったことで指導力向上	B	・指導力は勿論、教師としての人間力についても磨いていって欲しい。 ・外部講師による模範授業を実施し、教職員が研修してもよいのではない	
	施設・設備等の管理	○ごみゼロの学校づくりの推進 □優先順位を念頭に配当予算を使い、施設・設備の充実	○美化委員会の生徒を中心にして「ごみゼロ」の学校づくりを推進 □施設・設備面は老朽化が激しいため、市当局の力を借りた修理が多数	A	・施設・設備の老朽化による修理は仕方がなく、今後も早期発見で対処して欲しい。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
八幡木中	組織運営	○報告・連絡・相談・見届けを軸とした分掌組織の活性化と指導体制の確立 □非行問題行動の未然防止といじめ・不登校の早期発見・解消（不登校の割合2.5%未満）	○報連相と確実な見届けのもと、各学年・分掌ともに組織的・機動的な取組・指導を実践することができた。 □適切な見立てと見通しのもと、初期対応を徹底することができた。（不登校の割合2.1%）	A A	・情報共有と初期対応の実践、不登校の減少等、日頃の先生方の努力の結果である。 ・職員間の目標・課題の共通理解、意識の向上は、とても重要で良いことと考える。	4名
	教育課程	○生活規律を基盤とした学級経営と学び合いの授業を通した学習意欲の向上 □補習・家庭学習の充実と基礎学力の習得・定着に重点をおいた学力向上	○落ち着いた学習集団と学び合いの授業の中で、個々の生徒が主体的に学習する時間が増加した。 □恒常的に家庭学習を促し、計画的に補習することで、基礎学力の習得・定着を図ることができた。	B A	・校内の時間を工夫して補習時間を確保したことは、目標達成に一歩近づく。 ・基礎学力なしでは先に進めないので、今後とも基礎学力の強化をお願いしたい。	
	開かれた学校づくり	○継続事業の活性化と新規事業の立案・計画・開催 □学校と地域の双方向の連携の推進と積極的に地域と関わる取組の実践	○継続事業の見直し・改善を図りながら、新規事業を計画的に執り進めることができた。 □地域の要望を聞きながら、学校と地域の双方向の連携を推進することができた。	A B	・来校の機会を増やす試みの日曜参観やバザーは、興味が湧く内容である。 ・今日のようなタイトな時間割では、取組自体が学校全体の負担になってしまう。	
	教職員の資質向上	○教職員が即実践に活かせる学校内外の研修の設定・推進 □ベテラン教員と力を合わせた学校全体での若手教員の指導育成	○道徳の教科化など、ニーズに合わせた実践的な教員研修を実施することができた。 □授業研究や研修等を通して、全教職員が関わり合いながら若手教員の資質向上を図ることができた。	B A	・研修・授業公開など努力しているのがわかるので、より一層の向上に期待する。 ・学校・教員のやることばかりが増えているので、何か増えるなら、何かを減らす動きをしないとパンクしてしまう。	
	施設・設備等の管理	○学級経営を基盤とした心の教育と清掃指導・掲示教育・校内美化の徹底 □関係各課・各種業者との改善策・対応策の検討と教育環境の整備	○生徒の心の醸成を図り、教職員が一丸となって校内美化・校内掲示を推進することができた。 □危険箇所の早期発見と迅速な対応のもと、計画的に修繕・廃棄等を行うことができた。	A A	・定期的な敷地・建物等の見回りと修繕により、安全・安心が確保されている。 ・施設・設備の修繕等、引き続き市に要望していただきたい。	
里中	組織運営	○分掌主任をリーダーとした行事運営力向上	○会議での建設的な意見が出されるようになった。 □全教職員が協力した指導体制がとれたか。100%	A A	・生徒の授業態度もよく、学習に集中している。先生方の一生懸命な指導を感じる。	6名
	教育課程	○基礎基本の習得に向けた自主的な学習指導	○家庭学習の習慣化　78．3% □家庭学習を全校で取り組む定着度は100%	B A	・英語教育の力の伸びはどうか。 ・指導したことが生徒の理解に食い違いのないような指導を。	
	開かれた学校づくり	○保護者、地域との積極的な連携	○自治会集会の開催 □小中連携による学習面、部活動面の向上と不安解消	A A	・小学校で九九の力はつけさせてほしい。 ・新入生の保護者は部活動について心配がある。取り組みを前に進めてほしい。	
	教職員の資質向上	○生徒指導・教育相談の推進と生徒理解力の向上	○「やってみよう」の心掛けによりアクティブな授業が増えた □会議の一本化は指導に生かすためには有効である	A B	・職員室内のコミュニケーションは取れているか。教える側が会話ができなければ生徒の指導は難しい。 ・職員室の電気が遅くまでついていることもある。	
	施設・設備等の管理	○学級増に伴う教室環境整備を行う	○教室のドアについては大規模になるので手がつけられなかった □教育総務と相談は継続	C B	・直したところ、まだ直していないところの点検を確実に行ってほしい。事故が起こらないように。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
川口市立高等学校	組織運営	○将来構想の策定	○中・長期ビジョンを策定し、9月に教職員に提示	A	・開校から短期間で将来構想を策定できたことは評価に値する。 ・生徒目線で組織運営に工夫が必要である。	5名
	教育課程	○新たなタイプの新学校としての基礎の構築	○新たなタイプの新学校の基礎づくりに資する効果的な取り組みを実践	B	・大学入試改革に向け、ビジョンをどのように推進していくか課題である。	
	開かれた学校づくり	○市民への的確な情報発信 □リーディング校として川口の教育への貢献	○市教委事業へ積極的に協力 □ホームページへのアクセス数約30万	A	・来年度実施予定の「川口市をテーマにした学習」は世の中と関わることができる良い取組である。	
	教職員の資質向上	○ALやICTを活用した授業実践	○ALやICTを活用した授業を全教職員が実施	B	・ALの実施率を上げる必要がある。 ・教職員の資質向上が不可欠である。	
	施設・設備等の管理	○最新鋭の施設設備を生かした教育活動の展開 □工事に伴う安全の確保	○施設事故ゼロを達成 □職員会議・朝集のペーパーレス化を実現	A A	・ICTやALを推進していく上でシステムを構築する必要がある。 ・先生方の登校指導に感謝する。	
川口市立高等学校（定時）	組織運営	○将来構想の策定	○総合学科の課題の明確化	B	・将来構想の策定を行い魅力ある学校づくりを進めてほしい。	4名
	教育課程	○総合学科への移行	○単位制総合学科としての教育課程を具現化する計画を策定中	B	・日本語指導を充実させ、基礎学力の充実をさらに図る。 ・在校生の学習活動への取組が向上している。	
	開かれた学校づくり	○学校を核とした地域づくり	○説明会や学校見学を積極的に実施	A	・夜間中学との協力を体制づくりを進めてほしい。 ・外部講師を活用したキャリア教育を継続してほしい。	
	教職員の資質向上	○新しい教育への対応	○ALやICTを活用した授業を全教員が実施	A	・定時制におけるALの取組を評価する。	
	施設・設備等の管理	○最新鋭の設備の効果的活用と安全への配慮	○施設事故ゼロ	B	・生徒の実態に応じた防災教育の取組を評価する。 ・教員の投稿指導に感謝する。	

平成30年度　学校評価のまとめ（学校別）

学校名	領　域	学　校（幼 稚 園）自　己　評　価			学校（幼稚園）関係者評価（抜粋）	学校（幼稚園）関係者評価委員
		年　度　目　標	年　度　評　価			
		重点目標	重点目標の達成状況	達成度		
舟戸幼	組織運営	○時代に即した効果的、効率的な幼稚園経営の推進	○園内LANの活用、通知表の電子化、週案の簡略化等を図る等、効果的、効率的な幼稚園経営を推進することができた。	A	・働き方改革により子どもと向き合う時間確保する努力は評価できる ・負担軽減のためには、教職員数増の検討も必要 ・公立幼稚園の使命探り、地域に長く存在してほしい	5名
	教育課程	○幼稚園教育目標の達成 □PDCAサイクルに基づいた教育課程の実施	○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具現化した。 □毎学期毎に見直し、改善を図れた。	A A	・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の周知をしている ・園児の成長の姿からよい保育をしていることがわかる ・「遊び」のための環境作り配慮している	
	開かれた学校づくり	○保護者、地域と連携した特色ある教育活動 □異校種連携の推進	○推進できた。 □推進できた。	B A	・父親の保育参加をふやせるとよい ・異校種連携は、子ども、教員、保護者に有意義 ・保護者や地域との関わりが多いことがわかる	
	教職員の資質向上	○教職員に関する保護者アンケート項目の向上 □委嘱研究による教職員の資質向上	○教職員に関する保護者アンケート項目が向上した。 □川口市教育委員会委嘱研究の成果が明確にできた。	A A	・南平幼稚園の教師は自覚をもって保育している ・小学校の授業研究参加の成果は保育に反映している ・教職員が少人数だが、役割がうまく機能している	
	施設・設備等の管理	○施設設備に関する保護者アンケート項目の向上 □経理事故・情報漏洩事故ゼロの継続	○施設設備に関する保護者アンケート項目が向上した。 □経理事故・情報漏洩事故ゼロの継続することができた。	B A	・日々の点検と計画的な修繕を行い、安心につなげている ・自ら危険回避できる幼児の育成も大切である ・アンケートを通して保護者の責任等を高めている	
南平幼	組織運営	○目指す幼稚園像・幼児像の明確化 □教職員の経験年数に応じた参画意識の高揚 △関係諸機関との連携強化	○学期はじめの経営方針の確認・改善や園長だよりによる意識下 □常に主任と連携し、経験年数に応じた声掛けの徹底 △市の関係諸機関と連携した幼児一人一人の実態に応じた指導の充実	B B B	・発達に障害が見られる幼児や家庭に課題を抱えている幼児への関係諸機関と連携した対応の強化	3名
	教育課程	○豊かな体験活動の充実 □幼児の主体性や友達と関わる力の育成 △「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」についての小学校との共通理解	○荒川の豊かな自然を生かした体験活動の充実 □舟戸学園の交流活動を通した主体的に人と関わる力の育成 △「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の掲示物による意識下と幼小の共通理解	A B B	・新入園児減少に伴った、幼稚園経営の工夫・改善	
	開かれた学校づくり	○市教委委嘱学校間連携教育の研究発表による保護者・地域への発信 □地域の教育力を生かす △舟戸学園としての幼小中の滑らかな接続	○学校間連携教育の研究発表による研究成果の発信 □学校評議員会の毎学期の実施による意見聴取 △道徳教育を中心とした子供たちの成長過程の共通理解	A B A	・舟戸学園としての幼小中の連携教育の成果の発信とアピールの必要性 ・ホームページ等を利用した幼稚園の活動の発信 ・	
	教職員の資質向上	○園内研修の充実による指導力の向上 □学校間連携教育の充実 △市立幼稚園研究協議会の研究の充実	○外部指導者の招聘による小中との関連を意識した幼児教育の充実 □連携推進委員会や各研究部の充実による幼小中の滑らかな接続 △心豊かでいきいきと表現する幼児の育成	A B B	・本園では自発的な遊びを通して、幼児の主体性を育成しているが、現在の保護者が求めている教育とずれがある。保護者の理解を得るのは難しい課題である。 ・幼稚園でも「書き初め」等、伝統的な行事を取り入れてみるのもよい。	
	施設・設備等の管理	○事例をもとにした教職員の危機管理意識の高揚 □ヒヤリハット体験による安全管理の徹底 △修理箇所・危険箇所への迅速な対応	○園長だよりによる教職員一人一人の危機管理意識の高揚 □幼児の動きや遊びを意識した安全管理の徹底 △安全点検の徹底と修理箇所・危険箇所の早期発見と迅速な対応	B B A	・様々な事例をもとにした教職員の危機管理意識の更なる高揚 ・様々な状況を想定した幼児の安全管理の徹底	

議案第５７号

川口市学校運営協議会委員を委嘱・任命することについて

川口市学校運営協議会規則第６条の規定により、別紙のとおり川口市学校運営協議会委員を委嘱することについて議決を求める。

平成３１年４月１日提出

川口市教育委員会教育長　茂　呂　修　平

１　委嘱・任命するもの

（１）川口市立幸町小学校

№.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	稲垣　茂	後援会会長	平成３３年３月３１日任期満了
2	佐藤　充	幸栄地区連合町会長、栄町３丁目町会長	
3	納口　真一	幸町１丁目町会長	
4	緑川　定雄	幸町２丁目町会長	
5	坂東　治	幸町３丁目町会長	
6	岩淵　俊三	リボンシティレジデンス自治会長	
7	松井　克己	民生委員	
8	矢澤　昭人	主任児童委員	
9	瀧山　宣宏	幸栄公民館長	
10	黒澤　誠	校長	
11	後藤　清仁	教頭	
12	高橋　郁美	主幹教諭	
13	寺田　俊文	事務主幹	

（２）川口市立青木北小学校

№.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	小陽　孝一	青木５丁目町会長	平成３３年３月３１日任期満了
2	奥田　一郎	青木４丁目町会長	
3	海老原　邦延	川口市社会福祉協議会評議委員	
4	畑中　智栄美	民生児童委員	
5	白井　照夫	民生児童委員	
6	森角　ユミ子	青少年育成委員	
7	本間　正明	青少年育成委員　現ＰＴＡ会長	
8	小網　健介	現ＰＴＡ副会長	
9	鈴木　真由美	校長	

10	遠藤　崇寛	教頭	
11	池田　仁美	教務主任	
12	東　よう子	事務主幹	

（３）川口市立飯仲小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	篠田　隆	教育後援会　相談役	平成３３年３月３１日任期満了
2	冨塚　佳彦	教育講演会会長　仲町一丁目町会長	
3	菊地　正幸	教育後援会　相談役	
4	高橋　良樹	教育後援会　副会長	
5	須崎　茂夫	仲町町会長	
6	田邊　泰司	錦町町会長	
7	濱田　由美	元主任児童委員	
8	八木澤　清美	民生児童委員	
9	前畑　守	前ＰＴＡ会長	
10	坂下　明	現ＰＴＡ会長	
11	須山　恵美子	校長	
12	荒井　倫彦	教頭	
13	宅野　紘一	主幹教諭	

（４）川口市立前川小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	本橋　克己	前川本町町会長	平成３３年３月３１日任期満了
2	織田島　勇	根岸第一町会長	
3	本橋　昭仁	スクールガードリーダー　保護司	
4	龍光寺　憲一郎	学校運営協議会委員	
5	斉藤　志津枝	民生委員	
6	町田　みえ子	学校応援団コーディネーター	
7	松浦　洋之	前小後援会５０会会長	

8	萩原　忠	ＰＴＡ顧問	
9	須藤　和浩	ＰＴＡ顧問	
10	吉田　旭	前ＰＴＡ会長	
11	熊谷　泰治	ＰＴＡ会長	
12	新井　恵	校長	
13	鎌田　尚	教頭	
14	小川　巧	主幹教諭	

（５）川口市立元郷南小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	山下　秀文	現ＰＴＡ会長	平成３３年３月３１日任期満了
2	平野　益子	学校評議員	
3	川口　美千代	学校評議員	
4	石井　佳英	学校評議員	
5	宇田川　彰一郎	学校応援団コーディネーター	
6	佐々木　宏	現ＰＴＡ本部役員	
7	山田　晋治	校長	
8	平野　雅代	教頭	
9	小島　輝久	教務主任	
10	堅山　円	第１学年主任	
11	山口　公子	第２学年主任	
12	足達　祐子	第３学年主任	
13	野田　朋子	第４学年主任	
14	田中　亜季	第５学年主任	
15	狩野　有紀	第６学年主任	

（６）川口市立芝南小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	越尾　隆	芝２丁目町会長	平成３３年３月３１日任期満了
2	和田　忠雄	芝神戸町会長	
3	伊藤　幸子	民生児童委員	
4	松田　清美	元ＰＴＡ会長	
5	山崎　健二	ＰＴＡ会長	
6	加藤　智美	ＰＴＡ副会長	
7	中村　明子	ＰＴＡ副会長	
8	池谷　光一	ＰＴＡ副会長	
9	諏訪　健	校長	
10	中田　順一	教頭	
11	佐藤　哲也	主幹教諭	
12	牛之濱　瑛美	事務職員	

（７）川口市立上青木南小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	石渡　裕一	南町会長	平成３３年３月３１日任期満了
2	矢作　謙一	ＰＴＡ顧問	
3	山野　巌	学校関係者評価委員	
4	清水　健治	校長	
5	安島　高史	教頭	
6	内山　一郎	教務主任	

（８）川口市立安行東小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	金井　慎治	ＰＴＡ会長	
2	小林　敏雄	安行西立野町会長	

3	結城　喜世貴	安行出羽町会長	平成３３年 ３月３１日 任期満了
4	武井　博	安行吉蔵町会長	
5	杉本　忠昭	安行藤八町会長	
6	宇田川　勇	安行町会長	
7	加藤　久和	安行領家町会長	
8	小林　進一	ＰＴＡ顧問	
9	佐藤　直子	主任児童委員	
10	土井　一博	川口市学校教職員メンタルヘルスカウンセラー	
11	宮川　靖明	川口市立安行東中学校教頭	
12	小林　俊男	安行東小学校ＰＴＡ会長	
13	伊藤　政久	校長	
14	熊倉　貴生	教頭	
15	水口　学	主幹教諭	

（９）川口市立戸塚南小学校

№.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	新井　雅夫	下戸塚町会長	平成３３年 ３月３１日 任期満了
2	豊田　正美	立山町会長	
3	渡辺　進	西立野町会長	
4	荻島　一美	行衛町会長	
5	坂田　七重	主任児童委員	
6	厚川　葉子	民生委員、児童委員	
7	豊田　三男	ＰＴＡ顧問	
8	近藤　玲子	放課後子ども教室「どれみふぁ広場」コーディネーター	
9	椎橋　美孝	ＰＴＡ顧問	
10	井原　勲	スクールガードリーダー	
11	澤田　幸江	戸塚児童センター「あすぱる」顧問	
12	朝倉　雄馬	ＰＴＡ会長	

13	高村　美恵	校長	
14	佐藤　秀雄	教頭	
15	土井　亮	教頭	

（１０）川口市立安行中学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	田中　親男	元学校関係者評価委員	平成３３年３月３１日任期満了
2	田中　一宏	元学校評議員	
3	小林　進	安行みどりのまちづくり協議会長	
4	山口　俊子	元学校評議員	
5	浅田　民子	主任児童員	
6	茂木　まゆみ	元学校関係者評価委員	
7	中田　知加	元学校関係者評価委員	
8	石井　昌代	元学校関係者評価委員	
9	狩野　由美子	元ＰＴＡ会長	
10	金杉　順一	おやじの会　会長	
11	磯　奈保子	校長	
12	鈴木　玲	教頭	
13	奴賀　康則	主幹教諭	

（１１）川口市立芝西中学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	作間　孝次	芝樋ノ爪町会長、芝地区連合町会長	平成３３年３月３１日任期満了
2	大森　正一	芝富士町会　総務部長	
3	須賀　幸太郎	芝塚原町会長	
4	押切　房代	元ＰＴＡ会長	
5	中嶋　吉英	芝西後援会会長	
6	坂﨑　茂	ＰＴＡ会長	
7	白井　伴法	おやじの会会長	

8	杉田　明	校長	
9	曽山　武寿	教頭	
10	星野　泰久	陽春分校教頭	
11	根井　直樹	教務主任	

（１２）川口市立小谷場中学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	渡辺　洋一	学校応援団長	平成３３年３月３１日任期満了
2	浦邉　敏夫	教育後援会会長、小谷場町会長	
3	佐久間　雄治	教育後援会副会長	
4	梶　有一	教育後援会副会長	
5	吉田　美希	学校薬剤師	
6	石井　久夫	ＰＴＡ会長	
7	石川　哲次郎	芝鶴ヶ丸町会長	
8	郡　豊	芝西小学校長	
9	松原　誠	元市内中学校長	
10	小澤　靖之	元学校評議員	
11	鯉渕　三郎	上谷町会副会長	
12	坂井　知子	校長	
13	奥墨　伸夫	教頭	
14	市川　洋介	教務主任	
15	柳澤　靖明	事務主査	

（１３）川口市立飯塚小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	伊藤　美智恵	教頭	平成３２年３月３１日任期満了
2	服部　豊	主幹教諭	

（１４）川口市立安行小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	奈良　健男	ＰＴＡ会長	平成３２年３月３１日任期満了
2	高野　浩	教頭	
3	平田　真澄	主幹教諭	

（１５）川口市立原町小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	松丸　和夫	ＰＴＡ会長	平成３２年３月３１日任期満了
2	永井　紀一	スクールガードリーダー	
3	亀山　義光	教頭	

（１６）川口市立神根東小学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	髙橋　眞一	校長	平成３２年３月３１日任期満了

（１７）川口市立西中学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	平野　利英	教頭	平成３２年３月３１日任期満了

（１８）川口市立岸川中学校

No.	氏　　名	規則第６条関係	備考
1	髙原　徹	教頭	平成３２年３月３１日任期満了

２　任期

（１）上記１の（１）から（１２）
　　平成３１年４月１日から平成３３年３月３１日まで

（２）上記１の（１３）から（１８）
　　平成３１年４月１日から平成３２年３月３１日まで